



DTX Studio™ Clinic

バージョン 4.10

取扱説明書

目次

はじめに	6
免責事項	6
デバイスの概要	6
使用目的	6
用途 / 適応	6
対象ユーザーおよび対象患者のターゲットグループ	6
対象製品	6
他のデバイスとの必要な互換性	7
口腔内センサー	7
口腔内カメラ	7
口腔内スキャン	7
ソフトウェア	7
測定機能を備えたデバイス	7
禁忌	7
サイバーセキュリティ	7
サイバーセキュリティイベントの対処法	8
廃止と廃棄	8
相互運用性	8
耐用年数	8
パフォーマンスの要件および制限	8
臨床的利点と望ましくない副作用	9
重大な事故に関する通知	9
施設およびトレーニング	9
医療従事者用	9
システム要件	9
ソフトウェアのインストール	9
取り扱い手順	9
注意事項および警告	10
注意事項	10
警告	11
システム要件	13
開始	14
ソフトウェアの起動	14
ソフトウェアの終了	14
DTX Studio Home の解説	14
通知領域の解説	15

設定の調整	15
デフォルトの DTX Studio Home 設定の調整	15
設定のエクスポートまたはインポート	15
言語と日付 / 時刻形式の変更	16
DICOM 準拠の設定の調整	16
デフォルトのイメージフィルタの設定	16
口腔内画像の自動回転の無効化	17
レベルとウィンドウの値における自動設定の無効化	17
DTX Studio Core への接続	17
アクションペインへのショートカットの追加	17
プラクティスマネージメントシステム (PMS) 統合の有効化	18
インプラント製品のインストール	18
TWAIN 対応デバイスの追加	18
他社製デバイスの画像を検出するためのダイレクトフォルダの構成	18
デフォルトのエクスポートフォルダの設定	19
DTX Studio Clinic を閉じるときの自動保存の有効化	19
学習リソースとサポートへの問い合わせ	19
すべての学習リソースとキーボードショートカットの表示	19
テクニカルサポートへの問い合わせ	19
主な機能の概要	20
患者記録	21
新規患者記録の作成	21
患者記録の管理	21
プライバシーオプションの管理	21
患者記録の検索とソート	22
患者リストのソート	22
患者記録の検索	22
患者記録のエクスポート	22
データの管理	23
データのインポート	23
他社製デバイスからの画像のインポート	23
ドラッグアンドドロップによる画像のインポート	23
Clinic モジュールでの画像のインポート	23
クリップボードからのインポート	25
3Shape Dental Desktop ソフトウェアからのインポート	25
手術計画のインポート	25
データの選択	26
患者画像の選択	26

データの共有	26
DTX Studio Go を介した患者データの共有（GoShare 経由）	26
3D 症例検討の共有	27
2D 画像を電子メールで共有するか、他社製アプリケーションに転送する	27
データのエクスポート	28
患者記録のエクスポート	28
患者データのエクスポート	28
3D X 線ビューア用にエクスポート	28
DICOM 画像の印刷	29
インプラント計画の X-Guide へのエクスポート	29
スキャンのリクエスト	30
スキャンのスケジュール	30
スキャンリクエストの検索とソート	30
スキャンリクエストリストのフィルタリング	30
スキャンリクエストの検索	31
スキャンリクエストの管理	31
スキャンワークフロー	31
スキャンワークフローの定義	31
スキャンワークフローの適用	32
スキャンの実行	33
予定されているスキャンの実行	33
即時スキャンの実行	33
口腔内センサーまたは IP デバイスによるガイドあり取得	33
口腔内センサーまたは IP スキャナーデバイスによるガイドなし取得	34
口腔内カメラによるガイドあり画像取得	35
口腔内カメラによるガイドなし画像取得	35
口腔内スキャン	35
3Shape TRIOS® スキャナー	35
DEXIS スキャナー	36
口腔内のスキャンデータの取得	36
スキャン症例を再度開く	36
DEXIS IS ScanFlow スキャンの再開	36
高度な ScanFlow 機能の有効化	36
診断または治療計画	37
Clinic モジュールの解説	37
患者診断データ	37
診断の管理	37
歯式チャート	38
歯式チャートの編集	38

患者データ	39
3D および口腔内スキャンビューアの背景の設定	39
デフォルトの画像ズームレベルの設定	39
ビューアの操作	40
ワークスペース	41
ワークスペースのカスタマイズ	45
SmartFocus™ で関連する歯の情報をすべて表示	46
SmartLayout™ での表示のカスタマイズ	46
サムネイルバーからの画像の配置	46
スマートパネル歯式チャート	47
骨閾値の調整	47
リスライスの調整	47
3D ボリュームのクリップ	48
ワークスペースでの歯科用口腔内カメラの使用	48
患者画像の分析	48
診断所見の追加	55
フォーカス領域検出	55
フォーカス領域検出の開始	56
フォーカス領域検出の管理	57
インプラントと治療の計画	57
自動計画	57
インプラントの配置	58
アンカーピンの追加	58
すべてのインプラントを平行に埋入	59
インプラントまたはアンカーピンのロック	59
サージカルテンプレート	59
サージカルテンプレートの準備	59
サージカルテンプレートの完了	59
NobelGuide	60
NobelGuide の作成	60
NobelGuide のオーダー	60
インプラント製品のオーダー	61
レポート	61
レポートの作成	61
カスタムのプラクティスロゴの追加	61
DTX Studio Implant を開く	62
DTX Studio Clinic と DTX Studio Implant の接続	62
DTX Studio Implant の起動	62
オーダーとパートナーの共同編集	62
手術計画、サージカルテンプレート、または補綴修復のオーダー	62
提携パートナーとの接続の確立	63
提携パートナーからの直接オーダー	63
提携パートナーの症例の表示または新しいデータの追加	63

はじめに

免責事項

この製品は、包括的なコンセプトの一部であり、ノーベルバイオケア（以下「当社」とする）の取扱説明書と推奨事項に従い、適合する専用の製品との組み合わせでのみ使用できます。他社製品にノーベルバイオケアの製品を組み合わせることで推奨されない方法で使った場合、ノーベルバイオケアのいかなる保証も、その他のいかなる義務も、明示 / 黙示を問わず無効になります。ノーベルバイオケアの製品を使用する際には、いかなる製品についても、それが特定の患者およびその状況に適合するかどうかを判断しなければなりません。ノーベルバイオケアは、ノーベルバイオケア製品の使用において、専門的な判断または治療におけるエラーが原因となって生じるか、またはそれらに関係して生じる、直接的損害、間接的損害、懲罰的損害、またはその他のいかなる損害の責任も明示 / 黙示を問わず負わないものとします。ユーザーは、この製品に関する最新の開発動向およびその適用について、定期的に学ぶ義務を負っています。ユーザーは、不明な点がある場合には、当社に連絡する必要があります。この製品の使用はユーザーの管理下にあることから、製品使用はユーザーの責任です。当社は、この製品の適用が原因で生じる損害に対して一切の責任を負いません。

本取扱説明書で言及している製品のうち、国や地域によっては一部の製品が未認可、未販売、または未承諾の場合があります。ご了承ください。

DTX Studio™ Clinic をご使用になる前に、取扱説明書をお読みになり、今後必要になるときに備えて保管しておいてください。本書で取り上げる情報は、すぐに使えるように簡潔に示されています。

デバイスの概要

DTX Studio Clinic は、歯牙、頭蓋顎顔面状態、および関連する状態の治療を目的として 2D および 3D の画像データをタイムリーに分析するために使用する、歯科医師向けのソフトウェアインターフェースです。DTX Studio Clinic では、さまざまなデバイス（口腔内および口腔外 X 線撮影装置、（CB）CT スキャナー、口腔内スキャナー、口腔内カメラおよび口腔外カメラなど）からの画像データが表示され、処理されます。

使用目的

このソフトウェアは、歯牙と頭蓋顎顔面における診断プロセスと治療計画をサポートすることを目的としています。

用途 / 適応

DTX Studio Clinic は、歯牙および頭蓋顎顔面の画像情報を取得、管理、転送、解析するためのソフトウェアプログラムです。疑わしい歯科所見の検出をサポートし、歯科修復ソリューションのデザイン情報を提供するために使用できます。

さまざまなソースからのデジタル画像が表示されて画質が高められ、診断プロセスおよび治療計画がサポートされます。これらの画像は、システム内に保存したり、異なる場所にある複数台のコンピュータシステム間でやり取りしたりすることができます。

対象ユーザーおよび対象患者のターゲットグループ

DTX Studio Clinic は、学際的治療チームによって使用され、歯科治療、頭蓋顎顔面治療または関連する治療を受ける患者の治療をサポートするために使用されます。

対象製品

サージカルガイド形状ファイル（STL）。

他のデバイスとの必要な互換性

DTX Studio エコシステムは、最新リリースを含む、最も使用されているオペレーティングシステムである Windows および Mac と互換性があります。

DTX Studio Clinic は、他の医療デバイスと接続されており、DTX Studio Clinic の旧バージョンと互換性があります。

口腔内センサー

DEXIS™ Titanium、DEXIS Platinum、GXS-700™、DEXIS IXS™、DEXIS IXS™ – S、Gendex™ GXS-700™、DEXIS™ Ti2、DEXIS™ Ti2 – S。

口腔内カメラ

DEXIS™ DexCAM™ 4 HD、DEXIS™ DexCAM™ 3、DEXIS™ DexCAM™ 4、Gendex™ GXC-300™、KaVo DIAGNOcam™ Vision Full HD、KaVo DIAGNOcam™、CariVu™、KaVo ERGOcam™ One。

口腔内スキャン

MEDIT Link ソフトウェアとの互換性 *

CS 3600/DEXIS IS 3600、CS 3700/DEXIS IS 3700、CS 3800/DEXIS IS 3800、DEXIS™ Imprevo の口腔内スキャナーや他の互換性のあるモデルをサポートする DEXIS™ IS ScanFlow* との互換性。

ソフトウェア

DTX Studio™ Core*、DTX Studio™ Implant、DTX Studio™ Go、DTX Studio™ Lab*、CyberMed OnDemand3D™*、Osteoid（以前の Anatomage）InVivo™。

*Windows オペレーティングシステムでのみ使用可能な製品です。

ソフトウェアバージョンを更新した後は、開いている患者の症例や治療計画の重要な設定を確認して、新しいソフトウェアバージョンでこれらの設定が正しいことを確認することをお勧めします。設定が正しくないと、診断および計画または実際の治療の遅延あるいは再スケジュールにつながる可能性があります。

測定機能を備えたデバイス

測定精度および精密度は、スキャナーデバイスの取扱説明書に従って取得された（コーンビーム）CT スキャンの入力に基づく線形測定では 0.1 mm、角度測定では 0.1 度であり、ボクセルサイズは 0.5 mm x 0.5 mm x 0.5 mm です。

DTX Studio Clinic では、値がユーザー選択のポイントに基づいて小数点以下 1 桁に四捨五入されて報告されます。

禁忌

DTX Studio Clinic では特に確認されていません。

サイバーセキュリティ

サイバーセキュリティの脅威から業務を守ること、は、メーカーである弊社とヘルスケアプロバイダーであるお客様との共同責任です。ノーベルバイオケアは、そのような脅威からソフトウェアが守られるよう注意を払っています。

DTX Studio Clinic を使用するコンピュータには、ファイアウォールを正しく構成したうえで、最新かつ有効なウイルス対策ソフトウェアやマルウェア対策ソフトウェアをインストールすることが推奨されます。これを怠ると、不正なアクセスにつながる可能性があります。

DTX Studio Core の環境では、https 経由で DTX Studio Core と接続することが推奨されます。この接続の設定方法は、DTX Studio Core ガイドラインを参照してください。

設定でログの監査を有効にして、これらのログが不正アクセスから保護されるようにすることが推奨されます。これを怠ると、悪意のあるアクティビティが検知できない可能性があります。

コンピュータから離れる場合は、必ずコンピュータをロックしてください。これを怠ると、不正なアクセスにつながる可能性があります。

必ずオフィスのネットワークが不正アクセスから保護され、ビジターネットワークから隔離されるようにしてください。これを怠ると、不正なアクセスにつながる可能性があります。

データの紛失の原因となり得る予期しないシステムエラーや悪意のあるイベントからすばやく回復できるよう、患者データを定期的にバックアップするようにしてください。

管理者権限なしで DTX Studio Clinic を起動することが推奨されます。これを怠ると、他社製の悪意のある実行可能ファイルが意図せず起動する可能性があります。

DTX Studio Clinic を入手可能な最新のソフトウェアバージョンに常に更新することが推奨されます。これを怠ると、不正なアクセスにつながる可能性があります。

インストール時のバックアップ、ファイアウォールおよびセキュリティの設定に関する技術的な詳細については、DTX Studio Clinic インストールガイドを参照してください。

本ソフトウェアのソフトウェア部品表 (SBOM) は、ご要望に応じて提供しています。受け取るには、カスタマーサポート (www.dtxstudio.com/en-int/support) までご連絡ください。

サイバーセキュリティイベントの対処法

不正アクセスや悪意のあるソフトウェアによりシステムが侵害された可能性がある場合は、製品の動作やパフォーマンスに異常がみられる場合があります。このような場合は、ただちにカスタマーサポート (www.dtxstudio.com/en-int/support) にご連絡ください。

廃止と廃棄

コンピュータでの DTX Studio Clinic の使用を中止する場合や、DTX Studio Clinic がインストールされているコンピュータを廃棄する場合は、以下の手順に従ってください。

- 重要な情報を紛失しないように、データ保護およびデータプライバシーに関する現地の法律と規制に従って、本アプリにある必要なすべてのデータをバックアップしておいてください。
- 本アプリのアンインストール：DTX Studio Clinic およびそこに保存されたデータへの不正アクセスを防止するために、オペレーティングシステムプロバイダーの指示に従ってデバイスから本アプリをアンインストールしてください。

相互運用性

DTX Studio Clinic は、以下の製品と相互運用可能です。

- DTX Studio Core
- DTX Studio Implant
- DTX Studio Go
- DTX Studio Lab
- CyberMed OnDemand3D
- MEDIT Link
- DEXIS IS ScanFlow
- DTX Studio Assist：詳しくは [DTX Studio Assist IFU](#) をご覧ください。

耐用年数

ソフトウェアの場合、耐用年数は3年です。サポートされているオペレーティングシステムで使用する、用途に応じてソフトウェアのパフォーマンスが維持されます。

パフォーマンスの要件および制限

DTX Studio Clinic は、承認されているオペレーティングシステムでのみ使用してください。詳細については、取扱説明書の「[システム要件](#)」を参照してください。

臨床的利点と望ましくない副作用

DTX Studio Clinic は、歯科治療または頭蓋顎顔面治療のコンポーネントです。歯科医師は、このソフトウェアを利用して診断および治療計画を進めることができます。

このソフトウェアの臨床的な利点は以下のとおりです。

- 画像の可視化、分析、およびアノテーションを可能にし、診断を支援します。
- インプラントのプランニングや、治療計画の作成を支援する手術テンプレートの作成を容易にします。

DTX Studio Clinic では、望ましくない副作用は確認されていません。

重大な事故に関する通知

このデバイスの使用中、または使用の結果として、重大な事故が発生した場合は、製造元および各国当局に報告してください。重大な事故を報告するための、このデバイスの製造元の連絡先は以下のとおりです。

Nobel Biocare AB

<https://www.nobelbiocare.com/complaint-form>

施設およびトレーニング

歯科医師は、インプラント、補綴物、および関連するソフトウェアの経験の有無（経験値）にかかわらず、新しい治療法に着手する前には必ず、そのための研修を受けることが強く推奨されます。

ソフトウェアの知識と理解が不足していると、診断および計画または実際の治療の遅延あるいは再スケジュールにつながる可能性があります。

ノーベルバイオケアは、歯科医師が知識や経験のレベルに合わせて選択できるように、さまざまなコースを提供しています。

詳細については、tw.dtxstudio.com のトレーニングサイトをご覧ください。

医療従事者用

DTX Studio Clinic は医療従事者専用です。

システム要件

ソフトウェアのインストールを開始する前に、[システム要件](#)を確認してください。最小要件や推奨要件に関する情報を入手するには、テクニカルサポートまでお問い合わせください。ソフトウェアの新しいバージョンでは、ハードウェアまたはオペレーティングシステムによっては、より高い要件が必要になる場合があります。

ソフトウェアのインストール

ソフトウェアのインストール方法については、DTX Studio Clinic インストールガイドを確認してください。本文書はユーザー文書ライブラリ (ifu.dtxstudio.com) からダウンロードできます。何か問題が発生した場合やサポートが必要な場合は、担当の技術者またはカスタマーサポート (support@dtxstudio.com) にご連絡ください。

取り扱い手順

ソフトウェアの使用方法的詳細については、この取扱説明書の詳細な手順を参照してください。

注意事項および警告

注意事項



新しい治療法やデバイスを使用する際は、事前にトレーニングを受けておくことをお勧めします。

新しいデバイスや治療法を初めて使用する際は、その新しいデバイスの使用法や治療法に関して経験が豊富な歯科医師とともに治療を行うことで、可能性のある合併症を防ぐことができます。

より正確にスキャンするために、スキャンプロセス中は患者の動きが最小限に抑えられていることを確認する必要があります。

ソフトウェアの知識と理解が不足していると、診断および計画または実際の治療の遅延あるいは再スケジュールにつながる可能性があります。

ソフトウェアで提供される診断および計画のツールを使用するときは、特に以下の点に注意を払うことが重要です。

- 対象となる適応症が正確であること（可視化、測定、重要な構造、インポートされたデータ、インプラント計画）。
- MagicAssist、3D X 線画像のセグメンテーション、口腔内スキャンの位置合わせなどの自動化機能によって生成された結果が正確であること。
- 患者 ID が正確であること（PMS システムを介して患者記録を開いた後、およびスキャンリクエストを作成する際）。
- データが古いものでなく、最新であること。

これらを満たさないと、診断と計画または治療の見直しが必要になるリスクが高まり、その結果、診断および計画または実際の治療の遅延あるいは再スケジュールにつながる可能性があります。

画像キャプチャデバイスを使用する場合は、特に注意することをお勧めします。誤った使い方をすると、診断および計画または治療の遅延や再スケジュールにつながったり、患者に不必要な追加の放射線被ばくを与えたりするおそれがあります。

ソフトウェアからレポートまたは患者データを抽出する場合に、匿名化されていない患者データが、患者の同意なしに誤った目的に使用される可能性があることを理解しておくことが重要です。

特に、割り当てられた歯番号とビューアの方角のマーキングに注意を払うことをお勧めします。割り当てられた歯番号や患者の方角が誤っていると、患者に対する治療が正しく行われず、可能性が低くなります。

ソフトウェアバージョンを更新した後は、開いている患者の症例や治療計画の重要な設定を確認して、新しいソフトウェアバージョンでこれらの設定が正しいことを確認することをお勧めします。設定が正しくないと、診断および計画または実際の治療の遅延あるいは再スケジュールにつながる可能性があります。

作成したインプラント計画、インプラントの相互の配置、および他の重要な解剖学的構造に対するインプラントの配置に特別な注意を払うことをお勧めします。さらに、エクスポート用に適切なインプラント計画が選択されていることと、エクスポートしたインプラント計画または手術ガイドにインプラント手術に必要な情報がすべて含まれていることを必ず確認してください。

これらを満たさないと、診断と計画または治療の見直しが必要になるリスクが高まり、その結果、診断および計画または実際の治療の遅延あるいは再スケジュールにつながる可能性があります。

警告

次の警告がソフトウェアに表示されます。



DICOM ファイルでの名前は、患者名とは異なります。

誤ったデータを使用して患者モデルを作成するリスクを軽減するには、患者名を確認し、患者名と使用される DICOM セットの名前が一致するかどうかを確認してください。

DEX ファイルでの名前は患者名とは異なります。

誤ったデータを使用して患者の診断を実施するリスクを軽減するには、患者名を確認し、患者名と使用される DEX ファイルの名前が一致するかどうかを確認してください。

現在の診断に 3D X 線データを追加できません。

現在の診断には、手術計画にリンクされた 3D X 線データが含まれています。新しい診断を作成して 3D スキャンをインポートしてください。

現在の診断に最終インプラント計画を追加できません。

現在の診断に含められた 3D X 線データに基づいて、手術計画を選択してください。

8 ビットで画像をエクスポートした場合は、忠実性に欠ける可能性があります。

画質を維持するために、画像を別の形式でエクスポートすることをお勧めします。

患者を放射線にさらさないでください。

デバイスを準備できませんでした。この状態では、デバイスは X 線照射を受けることができません。デバイスを再接続するか、再起動してもう一度試してください。問題が解決しない場合は、テクニカルサポートまでお問い合わせください。

次の照射用のセンサーを準備しています。お待ちください。

デバイスは現在再準備中です。この状態では、デバイスは X 線照射を受けることができません。

デバイスのスキャンリクエストパラメータを確認してください。

患者をスキャンする前に、デバイスのパラメータを確認してください。

実際のインプラントの形状を使用せずに治療計画を変更することはお勧めできません。

実際の形状は、DTX Studio Go からダウンロードできます。

画像が反転されています。

この警告は、ユーザーが画像を手動で（水平または垂直に）反転した場合に表示されます。

画像が切り取られています。

この警告は、ユーザーが画像を手動でクロップした場合に表示されます。

口腔内画像の自動ソート（MagicAssist）は、双生、叢生、巨大歯のない永久歯列にのみ使用することを目的としています。

適切な条件から外れる患者の画像に MagicAssist を使用するリスクを減らすため。

DTX Studio Clinic と X-Guide ソフトウェアでは、データの表示（ビューアの方角、オブジェクトの色など）および警告が異なる可能性があることに注意してください。

サポート対象外のインプラント。

DTX Studio Clinic でサポートされているのは、X-Guide™ にエクスポートするインプラントの選択のみです。サポート対象外のインプラントは、X-Guide™ ファイルに含まれません。

インプラントが注釈付きの解剖学的構造に近すぎます。

計画したインプラントが、注釈付きの解剖学的構造（注釈付きの神経など）に近すぎます。インプラントが解剖学的構造に当たっていないことを確認してください。



インプラント同士がぶつかっています。

一部のインプラントが互いにぶつかっています。これにより、術中に問題が発生するおそれがあります。治療計画の見直しをお勧めします。

患者記録を同期しています。今アプリケーションを閉じると、最新の変更は DTX Studio Core に保存されません。

患者記録が更新され、DTX Studio Core への同期はまだ完了していません。まず同期が完了していなければ、クリニックの他のユーザーが患者に関する最新の変更を閲覧することはできません。

インプラント位置を調整してください。

この警告は「最適化されたインプラント位置の計算」アルゴリズムによって決定される初期位置にインプラントが残っている場合に、インプラント計画のエクスポート時、サージカルテンプレートまたは NobelGuide の作成時に表示されます。

患者を被ばくさせないでください。

現在、有効なサブスクリプションがないため、デバイスを照射準備状態にできませんでした。この状態では、デバイスは X 線照射を受けることができません。お使いのデバイスのカスタマーサポートまでお問い合わせください。

MagicAssist は AI とアルゴリズム処理を使用しています。必ず結果をご自分の臨床的評価と照らし合わせて確認してください。

MagicAssist は、人工知能 (AI) とアルゴリズム処理を使用して臨床評価を支援するものであり、臨床評価に取って代わるものではありません。MagicAssist が生成したすべての結果を、ご自身の臨床的専門知識と患者データに基づいて必ず確認してください。

DTX Studio Clinic では、技術的な警告 (CT データの矛盾など) がいくつか表示されます。

より正確にスキャンするために、ソフトウェアの指示と技術的な通知に従うことを強くお勧めします。

口腔内画像の自動ソート (MagicAssist) は、双生、叢生、巨大歯のない永久歯列にのみ使用することを目的としています。

歯科医師は、フォーカス領域検出で特定された結果だけに頼らず、患者データセット全体の完全な系統的レビューと解釈、およびその他の鑑別診断法を実行する必要があります。

フォーカス領域検出は、検出可能な画像に限定されます。

フォーカス領域の自動検出は、双生、叢生、巨大歯のない永久歯列にのみ使用することを目的としています。

システム要件

オペレーティングシステム ¹	デスクトップ版またはノートブック版の Windows® 11 64 ビット（Pro および Enterprise エディション） iMac、Mac Mini、Mac Pro、MacBook Pro、MacBook Air 上で動作する、macOS Tahoe（26）および Sequoia（15）（Intel® ベースの Mac および M1 チップ以上を搭載した Apple Silicon Mac）。 ²	
	基本的なセットアップ（2D 画像のみ）	推奨されるセットアップ（2D および 3D 画像においてパフォーマンスが向上する）
CPU	デュアルコアまたはクアッドコア	2.8 GHz クアッドコア（インテル Core i5 または i7）
RAM	専用インストールの場合は最低 4 GB が必要です。同じコンピュータで他のアプリケーションを実行する場合は、追加の RAM を推奨します。	専用インストールの場合は最低 8 GB が必要です。同じコンピュータで他のアプリケーションを実行する場合は、追加の RAM を推奨します。
グラフィックカード	エントリーレベルの専用アドインカードまたはインテル内蔵グラフィックス。第 9 世代 Intel グラフィックス内蔵の第 6 世代インテル CPU 以上がサポートされています。OpenGL® 3.3 のサポートが必要です ³ 。	最適な 3D サポート（OpenGL 3.3）と 2 GB VRAM 以上を備えた専用アドイングラフィックカード。4K ディスプレイの場合は、4 GB 以上の VRAM を推奨します。
	AI 診断モジュールを使用する場合： Windows でアルゴリズムをハードウェアアクセラレーションするには、DirectX 12 対応 GPU および Windows 11 バージョン 25H2 以上が必要です。 Mac でアルゴリズムをハードウェアアクセラレーションするには、macOS Sequoia（15）以上が必要です。最高のパフォーマンスを得るには、M1 チップ以上を搭載した Apple Silicon Mac を推奨します。 注記 MagicAssist のハードウェアアクセラレーションは、[DTX Studio Home パフォーマンス] 設定で設定します。	
ディスク容量	インストール用の 10 GB の空きディスク容量と、ユーザー作成データ用の追加のディスク容量。DTX Studio Clinic の一般的な 2D 患者データセットは約 10 MB です。	インストール用の 10 GB の空きディスク容量と、ユーザー作成データ用の追加のディスク容量。DTX Studio Clinic の一般的な 3D 患者データセットは約 250 MB です。
ネットワーク	アップロード速度が 3 Mbps、ダウンロード速度が 30 Mbps のブロードバンドインターネット接続。 DTX Studio Clinic から外部のサービスやアプリケーションに接続するには、常にインターネットに接続しておくことが推奨されます。それができない場合、DTX Studio Clinic へのアクセスが一時的に中断される可能性があるため、少なくとも 14 日に 1 回接続する必要があります。インターネットへの接続が再度確立すると、DTX Studio Clinic へのアクセスは回復します。	
ハードディスク	Mac デバイスの場合は、APFS、HFS+ または HFSJ の大文字と小文字を区別しないドライブにのみ DTX Studio Clinic をインストールしてください。	
モニター	フル HD（1,920 × 1,080）以上。画面のスケールリングが行われている場合、情報が欠落して見えることがあります。このため、同等のスケールリング解像度を 1,920x1,080 未満にすべきではありません。	
LAN	DTX Studio Clinic を DTX Studio Core と一緒にインストールする場合は、ローカルのギガビットネットワークをお勧めします。	

1 確認されているバグや脆弱性を修正し、ユーザーとコンピュータシステムの安全性を高めるため、利用可能な最新版のオペレーティングシステム（OS）をインストールすることが強く推奨されます。

2 一部の MacBook Air® および Mac® Mini 構成のグラフィックカードには、ボリュームレンダリングに関する制限があります。低解像度のボリュームレンダリングを選択することを検討してください。

3 安定性および最適なパフォーマンスを確保するため、ベンダーの公式 Web サイトから入手可能な最新のグラフィックスカードドライバを常に使用してください。グラフィックカードの OpenGL® バージョンを確認するには、<http://realtech-vr.com/admin/glvew> をご覧ください。

開始

ソフトウェアの起動

1. DTX Studio Clinic を開きます。
 - Windows では、デスクトップのショートカットアイコン  をダブルクリックします。
 - macOS では、Finder アプリケーションフォルダまたは Dock 内のショートカットアイコン  をクリックします。
2. ユーザーを選択します。
3. パスワードを入力します。
4. [ログイン] をクリックします。

注記

DTX Studio Clinic は、常時インターネットに接続しておく必要があります。それができない場合、DTX Studio Clinic へのアクセスが一時的に中断される可能性があるため、少なくとも 14 日に 1 回接続する必要があります。

オフラインライセンスの場合、この停止措置は適用されません。インターネット接続を必要とする機能やサービスは、オフラインライセンスの対象外であり、オフラインで作業している間は利用できません。オフラインライセンスのパスワードを変更するには、[インストールガイド](#)を参照してください。

ソフトウェアの終了

アクティブな Clinic とスキャン・モジュール*のインスタンスをすべて閉じてください。

[メニュー] をクリックし、[アプリケーションを閉じる] をクリックしてください。

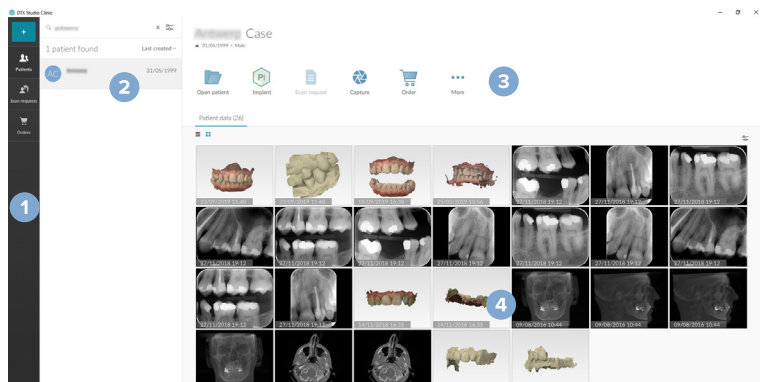
注記

終了ボタン X を使用すると、ソフトウェアはバックグラウンドで実行されるため、データを同期することができ、DTX Studio™ Home / DTX Studio Clinic を再度開いたときの反応が早くなります。

*モジュールはライセンス契約されている可能性があります。

DTX Studio Home の解説

DTX Studio Home は、患者記録、スキャンリクエスト、および一般設定を選択し管理するための作業領域です。



- 1 サイドバー
- 2 患者リスト
- 3 アクションペイン
- 4 詳細ウィンドウ

通知領域の解説

通知領域の DTX Studio  アイコンから、DTX Studio Home の設定  と以下のタブにアクセスできます。

- [通知]：現在アップロードされているか、DTX Studio Core と同期されている患者の記録や、その他のシステム通知が表示されます。
- DTX：以下の機能にすばやくアクセスできます：
 - DTX Studio Core ()、
 - DTX Studio Go ()、
 - 照射線量レポート*、
 - QuickPrescribe*、または
 - リンク済みの他社製アプリケーション。
- [デバイス]：他社製デバイスの画像をインポートするための直接フォルダを一覧表示し、画像取得デバイスとそのステータスを表示します。

 USB または TWAIN 経由で接続済み

 オンライン

 ビジー

 オフライン

[その他のオプション...] をクリックすると、デバイスの設定、フォルダのインポート設定にアクセスしたり、不要なデバイスを無効にしたりできます。

* DTX Studio Core が必須です。

設定の調整

デフォルトの DTX Studio Home 設定の調整

1. DTX Studio Home で [メニュー]  をクリックします。
2. [設定 ] をクリックします。

設定のエクスポートまたはインポート

設定されたプリファレンスを含む設定ファイルを作成またはインポートします。これは、設定を新しいインストールにエクスポートしたり、DTX Studio Clinic の他のユーザーと設定を共有したり、バックアップを作成したりする場合に有用です。

注記

詳細については、ヘルプファイルの「設定の共有」トピックを参照してください。メニューアイコン  をクリックして [ヘルプ] を選択してください。

DTX Studio Home の [**設定**] で、 [**設定の共有**] をクリックします。

- 設定ファイルを**エクスポート**するには、 [**すべての設定**] を共有するか、 [**設定のサブセット**] を共有するかを選択します。サブセットオプションでは、どの設定を含めるかを個別に選択できます。この設定ファイルは、DTX Studio Core にアップロードして、診療所内の他の DTX Studio Clinic ユーザーに配布できます。
- 設定ファイルを手動で**インポート**するには、設定ファイルをコンピュータからインポートするか、DTX Studio Core からインポートするかを選択します。

言語と日付 / 時刻形式の変更

使用言語、日付形式、時刻形式を調整するには、次の手順に従ってください。

1. [DTX Studio Home **設定**] で、 [**全般**] をクリックします。
2. [**短い日付形式**]、 [**長い日付形式**]、 [**時刻形式**] のリストで日付と時刻の形式を選択します。
3. [**アプリケーションの言語**] リストから使用する言語を選択します。
4. [**OK**] をクリックします。
5. 変更を有効にするには、DTX Studio Clinic を再起動します。

DICOM 準拠の設定の調整

DIN 6862-2 スタンドアードへの準拠を確認するには、機関情報を入力します。DICOM ファイルをエクスポートすると、提供された機関情報で空のタグが置き換えられます。

1. [DTX Studio Home **設定**] で、 [**全般**] をクリックします。
2. [**DIN 6862-2 スタンドアードを使用**] を選択します。
3. 要求された機関情報を入力します。
4. [**OK**] をクリックします。

注記

準拠する DICOM ファイルをインポートおよびエクスポートすると、DIN 6862-2 タグが常に保持されます。

デフォルトのイメージフィルタの設定

DTX Studio Home ビューアと DTX Studio Clinic について、デフォルトのイメージフィルタを設定するには、次の手順に従ってください。

1. DTX Studio Home の [**設定**] または DTX Studio Clinic の [**環境設定**] で、 [**画像設定**] をクリックします。
2. [**デフォルト画像設定**] リストから、デフォルトのフィルタ設定を設定する画像タイプを選択します。
3. 選択した画像タイプのデフォルトとして使用するフィルタを選択し、表示されたスライダーを使用してフィルタのパーセンテージを設定します。
4. [**OK**] をクリックします。

初期設定のデフォルト値に戻す場合は、 [**リセット**] をクリックしてください。

口腔内画像の自動回転の無効化

即時スキャンを実行すると、口腔内画像は自動的に正しい位置へと回転します。この機能を無効にするには、次の手順に従ってください。

1. DTX Studio Home の [設定] または DTX Studio Clinic の [環境設定] で、[画像設定] をクリックします。
2. [DTX Studio のキャプチャで口腔内 X 線画像の自動回転を適用する] の選択を解除します。

レベルとウィンドウの値における自動設定の無効化

2D 画像をインポートまたは取得すると、レベルとウィンドウの値が自動的に設定されます。この機能を無効にするには、次の手順に従ってください。

1. DTX Studio Home の [設定] または DTX Studio Clinic の [環境設定] で、[画像設定] をクリックします。
2. 右上のドロップダウンメニューで、[パノラマ]、[口腔内]、または [セファログラム] を選択します。
3. [自動レベルウィンドウ] スイッチをオフ  にします。
4. カスタムのレベルとウィンドウの値を入力します。
5. [OK] をクリックします。

DTX Studio Core への接続

DTX Studio Core は、患者のさまざまな種類のメディアや画像データ（2D X 線、3D（CB）CT X 線、光学スキャン、写真）を一元化した方法で保存して取り出すためのソフトウェアソリューションです。これにより、歯科医院内のどこからでも保存したデータにすぐにアクセスできるようになります。

- DTX Studio Core と接続すると、DTX Studio Clinic をネットワーク環境で使用し、サポートされている他のイーサネット接続デバイスや 3Shape TRIOS® デバイスから画像を取得することができます。
- ネットワークデバイス、スキャンリクエストを処理し、X 線レポートにアクセスするには、DTX Studio Core との接続を確立する必要があります。

DTX Studio Core との接続を確立するには、次の手順に従ってください。

1. [DTX Studio Home 設定] で、[DTX Studio Core] をクリックします。
2. DTX Studio Core の URL（Web アドレス）が未入力の場合は入力してください。
3. [接続] をクリックします。
4. 接続要求が送信されると、ローカル管理者は DTX Studio Core UI を介して受け入れることができます。

アクションペインへのショートカットの追加

アクションペインに他社製アプリケーションや Web ページのショートカットを追加するには、次の手順に従ってください。

1. DTX Studio Home の [設定] で、[クイック起動] をクリックします。
2. [追加] をクリックし、[アプリケーション] または [Web ページ] を選択します。
3. アプリケーションの場合は、実行可能ファイルを選択し、[開く] をクリックします。Web ページの場合は、URL を入力します。
4. 必要に応じて、[アプリケーション名] または [Web ページ名] を変更します。

5. 必要に応じて、アプリケーションの場合、[患者データを読み込んで起動]を選択し、患者データを読み込んで他社製アプリケーションを起動します。
 - エクスポートパラメータを[エクスポートパラメータ]フィールドに追加して、エクスポートするデータを指定します。

注記

患者データのすべてのパラメータに関する詳細については、ヘルプファイルの「クイック起動」のトピックを参照してください。メニューアイコンをクリックし、[ヘルプ]を選択してください。

- [参照]をクリックして、エクスポートしたデータの保存場所を選択します。

6. [OK]をクリックします。

プラクティスマネージメントシステム（PMS）統合の有効化

DTX Studio Clinic を PMS と統合すると（VDDS または OPP/OPP ウェブを介して）、PMS 内に患者記録を作成したり、PMS から画像を取得したりできます。

PMS 画像を DTX Studio Home でプレビューしたり、DTX Studio Clinic に直接表示したりします。

1. [DTX Studio Home 設定]で、[PMS 統合]をクリックします。
2. [PMS 統合の有効化]を選択します。

注記

詳細については、ヘルプファイルの「PMS 統合」のトピックを参照してください。メニューアイコンをクリックし、[ヘルプ]を選択してください。

インプラント製品のインストール

DTX Studio Clinic におけるインプラント計画用インプラント製品形状のインストール / 更新

1. DTX Studio Home の [設定] で、[インプラント製品]をクリックします。
2. 使用するブランドを見つけ、[インストール]または[更新]をクリックします。

TWAIN 対応デバイスの追加

1. DTX Studio Home の [設定] で、[デバイス]をクリックします。
2. [追加]をクリックします。
3. TWAIN デバイスを選択します。
4. デバイスの設定を構成します。
5. [追加]をクリックします。

他社製デバイスの画像を検出するためのダイレクトフォルダの構成

他社製カメラデバイスまたは他社製（CB）CT デバイスからの画像を追加するには、新しい画像が検出されることになる直接フォルダをセットアップしてください。[キャプチャ]アクションで、画像を患者記録に追加してください（DTX Studio Clinic 内から追加することもできます）。

1. カメラデバイスの設定を準備します。
 - 可能であれば、他社製のカメラデバイス、（CB）CT デバイス、またはワイヤレス SD カードをセットアップして、画像を特定のフォルダに保存します。

- 画像が標準の SD カードに保存されている場合は、その SD カードを挿入し、割り当てられたドライブ文字を書き留めます。

2. DTX Studio Home の [**設定**] で、[**デバイス**] をクリックします。
3. [**追加**] をクリックします。
4. 目的の他社製デバイスを選択し、[**開く**] をクリックします。
5. [**参照**] をクリックし、カメラデバイスフォルダを選択して、[**フォルダの選択**] をクリックします。
6. 具体的な名前を入力します。
7. 必要に応じて、モダリティとフォルダの優先順位を変更します。
8. [**追加**] をクリックします。

デフォルトのエクスポートフォルダの設定

レポート、スクリーンショット、X-Guide ファイルのデフォルトのエクスポートフォルダを指定するには、次の手順に従ってください。

1. [DTX Studio Home **設定**] で、[**エクスポート**] をクリックします。
2. エクスポートタイプごとに [**参照**] をクリックし、デフォルトのフォルダを選択します。

DTX Studio Clinic を閉じるときの自動保存の有効化

1. DTX Studio Clinic の環境設定で、[**全般**] を選択します。
2. [**患者を閉じるときに自動保存**] を有効にします。

この設定はデフォルトで有効になっており、閉じる前に患者記録を保存するよう求めるメッセージが表示されなくなります。

学習リソースとサポートへの問い合わせ

すべての学習リソースとキーボードショートカットの表示

ヘルプドキュメント、取扱説明書、キーボードショートカットを表示するには、メニューアイコン  をクリックし、[**ヘルプ**]、[**取扱説明書**]、または [**キーボードショートカット**] を選択してください。あるいは、Clinic モジュール内の疑問符アイコン  をクリックしてください。

トレーニングビデオの Web サイトと製品ツアーは、Clinic モジュールでのみ開くことができます。メニューアイコン  または疑問符アイコン  をクリックし、[**トレーニングビデオ**] または [**製品ツアー**] を選択してください。

テクニカルサポートへの問い合わせ

テクニカルサポートに問い合わせるには、メニューアイコン  をクリックし、[**サポートへの問い合わせ**] を選択してください。すべての問い合わせ方法が記載されたサポート Web サイトが開きます。

主な機能の概要

DTX Studio Home の主な機能を使用するには、次の手順に従ってください。

- | | | |
|--------------------|---|---|
| 1 患者記録を作成またはリンクする |  | 患者記録を作成します (ページを参照 21)。 |
| |  | プラクティスマネージメントシステムを統合し (ページを参照 18)、既存の PMS 患者記録をリンクします。 |
| 2 データを取得またはインポートする |  | スキャンを取得するか、複数のスキャンワークフローを開始するか (ページを参照 31)、直接フォルダから他社製デバイスの画像をインポートします (ページを参照 23)。 |
| |  | 1つのスキャン、もしくは複数のスキャンワークフローをリクエストします (ページを参照 31)。 |
| |  | 患者記録に画像をドラッグアンドドロップします (ページを参照 23)。 |
| |  | DTX Studio Clinic 内のデータをインポートします (ページを参照 23)。 |
| |  | 3Shape Dental Desktop ソフトウェアからインポートします (ページを参照 25)。 |

患者記録が作成され、データが追加されたら、次の手順に進んでください。

- | | | |
|-------------------------------|---|---|
| 診断を行い、治療の計画を立てる |  | [Clinic モジュール] を開き (ページを参照 37)、次の操作を行います。 |
| | | <ul style="list-style-type: none">– 画像を診断する (ページを参照 48)。– インプラントと治療を計画する (ページを参照 57)。– サージカルテンプレートを作成する (ページを参照 59)。– 患者と 3D プレゼンテーションを共有する (ページを参照 27)。 |
| |  | 必要に応じて、DTX Studio Implant を開きます (ページを参照 62)。 |
| |  | 患者記録をエクスポートする (ページを参照 22)。 |
| DTX Studio Clinic で共有してやり取りする |  | X-Guide™ にインプラント計画をエクスポートする (ページを参照 29)。 |
| |  | <p>DTX Studio Go を介して患者記録と患者データを共有するか (ページを参照 26)、パートナーと共同編集します。</p> <p>必要に応じて、補綴修復、サージカルテンプレート、または手術計画をオーダーします (ページを参照 62)。</p> |
| DTX Studio Home でオーダーする | | |

患者記録

新規患者記録の作成

1. DTX Studio Home で、左上隅にある青いプラスアイコン  をクリックします。
2. [患者を作成] を選択します。
3. 患者名、生年月日、性別など、基本的な患者情報を入力します。
4. [作成] をクリックします。
5. 患者記録が[患者 ] リストに追加されます。DTX Studio Home が DTX Studio Core に接続されている場合は、DTX Studio Core にも患者記録が追加されます。

患者記録の管理

患者リストをまだ開いていない場合は、サイドバーの[患者 ] をクリックして患者リストを開いてください。

注記

ワークステーションが DTX Studio Core に接続されていない場合は、ローカルに保存されている患者記録だけが表示されます。

- ローカルのワークステーションまたはネットワークに接続されたワークステーションの DTX Studio Clinic で現在開かれている患者記録には、ロックアイコン  マークが表示されます。
- 基本患者情報を編集するには、患者リストで患者記録を選択し、[その他]... をクリックして[編集]  を選択してください。
- 選択した患者記録を削除するには、[その他]... をクリックし、[患者の削除]  を選択してください。
- DTX Studio Core に保存されている患者記録をオフラインでも利用できるようにするには、[その他]... をクリックし、[オフライン利用可能] を有効にしてください。
- 2つの患者記録をマージするには、[その他]... をクリックし、[患者のマージ]  を選択します。

通知領域 ([ページを参照 15](#)) には、アップロードされている患者記録または同期されている患者記録が表示されます。

プライバシーオプションの管理

患者のプライバシーを確保するには、次の手順に従って、患者リストに患者のイニシャルのみを表示するか、患者リストを完全に非表示にしてください。

1. 患者リストで、フィルタアイコンを  をクリックします。
2. イニシャルのみを表示するには[プライバシーモード]を選択し、患者リストを完全に非表示にするには[患者リストを非表示]を選択します。

注記

- 患者リストを再度表示するには、サイドバーの二重矢印アイコン  をクリックしてください。
- プライバシーモードは、DTX Studio Clinic を再起動した場合でも有効のままです。プライバシーモードをオフにするには、フィルタアイコンを  をもう一度クリックし、[プライバシーモード]をオフにしてください。

患者記録の検索とソート

患者記録を検索するには、患者リストをソートするか、検索機能を使用してください。

患者リストのソート

1. [患者]リストの見出しの横にあるドロップダウン矢印をクリックします。
2. [最終作成日]、[最終変更日]、または[最終キャプチャ日]を選択します。
3. もう一度ドロップダウンリストをクリックして閉じます。

患者記録の検索

1. 患者リストで、フィルタアイコンををクリックします。
2. [患者名]、[生年月日]、[患者 ID]、[PMS ID]、または[オーダーまたは治療 ID 番号]を選択して検索します。
3. 選択した検索オプション（一部）を[患者検索]フィールド Q に入力します。
4. 検索ボックスにテキストを入力すると、患者リストが自動的にフィルタリングされます。

検索条件を削除するには、検索フィールドで **x** をクリックしてください。

患者記録のエクスポート

患者記録をエクスポートして、診断および画像データを別の DTX Studio Clinic ユーザーと手動で共有することができます。また、エクスポートした患者記録は、DTX Studio Go から利用可能な無料版の DTX Studio Clinic で表示できます。詳細は[ページを参照 26](#) してください。

注記

ソフトウェアからレポートまたは患者データを抽出する場合に、匿名化されていない患者データが、患者の同意なしに誤った目的で使用される可能性があることを理解しておくことが重要です。

データの管理

データのインポート

他社製デバイスからの画像のインポート

他社製カメラデバイスまたは他社製（CB）CT デバイスから画像を追加するには、新しい画像が検出されることになる直接フォルダを設定しておいてください（[ページを参照 18](#) ページ）。

1. 患者リストで患者記録を選択するか、DTX Studio Clinic で患者記録を開きます。
2. [**キャプチャ**] をクリックします。
3. 直接フォルダの名前にカーソルを合わせ、[**選択**] をクリックします。
 - 2D 画像の場合は、インポートする画像を選択します。[**終了**] をクリックします。
 - 3D（CB）CT デバイスの場合は、インポートする 3D データを選択します。[**インポート**] をクリックします。

ドラッグアンドドロップによる画像のインポート

1. 互換性のある画像またはファイルの種類またはデータが混合したフォルダ全体をファイルエクスプローラから DTX Studio Home 患者記録または Clinic モジュールにドラッグアンドドロップします。
2. [**データを選択**] ウィンドウで、追加したくない画像の選択を解除します。色付きの枠線のあるタイルが追加されます。
3. 必要に応じて、画像タイルにカーソルを合わせ、[**その他のオプション...**] をクリックして、モダリティと撮影日を変更します（画像のモダリティを選択するか、撮影日を編集することで行います）。
4. [**インポート**] をクリックします。
5. 画像が患者記録に追加されます。

Clinic モジュールでの画像のインポート

1. Clinic モジュールで、メニューアイコン（≡）をクリックして患者メニューを開きます。
2. [**インポート**] をクリックし、以下のオプションのいずれかを選択します。

3D X 線

1. [\[DICOM ファイルのインポート\]](#) をクリックします。
2. DICOM 画像ファイルの場所を参照して、そのフォルダを選択します。
3. [\[インポート\]](#) をクリックします。
4. DICOM ファイルが読み込まれます。右側のスライダーを使用して、スライス全体をスクロールし、DICOM 画像を確認します。
5. [\[終了\]](#) をクリックします。
6. MagicAssist™ が有効になっている場合(デフォルトで有効)、プロセスが開始され、(CB) CT データが自動的にセットアップされます。
 - [\[MagicAssist をスキップ\]](#) をクリックして、3D X 線を手動で設定します。
 - 3D X 線の向きは、患者の方向ウィザードによって最適化できます。
 - OPG 曲線アクション ([ページを参照 52](#)) を実行すると、3D パノラマを調整できます。

口腔内
スキャン

1. 口腔内スキャンモデルを選択し、[\[インポート\]](#) をクリックします。
2. インポートするデータを選択します。緑色の枠線のあるタイルが追加されます。必要であれば、モデルタイプや取得日を調整します。
3. [\[インポート\]](#) をクリックします。
4. MagicAssist が実行され、スキャンの向きを検出します。向きを調整するには、[\[3D ツール\]](#) ツールバーで [\[IO スキャンの設定\]](#) > [\[向きの調整\]](#) をクリックします。

診断に 3D X 線画像が追加されている場合は、口腔内スキャンと 3D X 線画像を統合するよう案内するツールチップが表示されます。あるいは、[\[3D ツール\]](#) ツールバーで、[\[ボリュームのアライメント\]](#) > [\[IO スキャンを 3D X 線画像にアライメント\]](#) をクリックします。

ラボの
デザイン

1. 診断スキャンを選択し、[\[インポート\]](#) をクリックします。
2. インポートする診断スキャンを選択してください。ラボデザインは、診断モデルとして認識されます。必要に応じて、取得日を編集してください。
3. [\[インポート\]](#) をクリックします。

ラボデザインの位置を調整するには、[\[調整\]](#) スマートパネルを使用します。

フェイス
スキャン

1. インポートするフェイススキャンを選択し、[\[インポート\]](#) をクリックします。
2. 必要に応じて、[\[明るさ\]](#) と [\[コントラスト\]](#) を調整します。
3. [\[終了\]](#) をクリックします。

3D X 線に対してフェイススキャンをアライメントするには、[\[3D ツール\]](#) ツールバーで、[\[ボリュームをアライメント\]](#) > [\[フェイススキャンを 3D X 線にアライメント\]](#) をクリックします。

フェイススキャンの位置を調整するには、[\[調整\]](#) スマートパネルを使用します。

2D 画像

1. 画像を選択し（複数可）、[**インポート**] をクリックします。
2. 追加する画像を選択します。緑色の枠線のあるタイルが追加されます。
3. [**インポート**] をクリックします。
 - 2D 画像をインポートまたは取得すると、レベルとウィンドウの値が自動的に設定されます。これを無効にするには、の [“レベルとウィンドウの値における自動設定の無効化” ページ 17](#) を参照してください。
 - デフォルトでは、MagicAssist の自動検出が有効になっています。これは、DTX Studio Home **MagicAssist** の設定で無効にすることができます。

クリップボードからのインポート

1. コンピュータ上の画像をコピーして、クリップボードに追加します。
2. Clinic モジュールで、メニューアイコン  をクリックして患者メニューを開きます。
3. [**インポート**]  をクリックし、[**クリップボードから**] を選択します。
4. インポートした画像をチェックします。別のモダリティに変更するには、[**その他のオプション...**] をクリックし別のモダリティを選択します。
5. [**インポート**] をクリックします。

3Shape Dental Desktop ソフトウェアからのインポート

3Shape TRIOS 口腔内スキャナーで取得したスキャンをインポートするには、最初に DTX Studio Home で患者記録を作成する必要があります。

注記

3Shape TRIOS 口腔内スキャナーデバイスの統合方法については、『[DTX Studio Core クイックガイド](#)』を参照してください。

1. DTX Studio Home で新しい患者記録を作成します。3Shape データが確実にマージされるようにするには、次の手順に従ってください。
 - 3Shape Dental Desktop の既存の患者記録とまったく同じ名、姓、生年月日を使用します。
 - 患者名の大文字と小文字が正しく表記されていることを確認します。名前の大文字と小文字は区別されます。

注記

- 以前にインポートした患者記録は再インポートできません。3Shape Dental Desktop で患者記録を複製し、複製した患者記録を代わりにインポートしてください。
- DTX Studio Clinic の患者記録 ID は、3Shape と交換されません。リンクは、名、姓、生年月日が同じであることをユーザーが確認したうえで作成されます。

2. **患者**  リストで患者記録を選択します。
3. [**その他...**] をクリックします。
4. [**3Shape からインポート**]  を選択します。
5. 必要に応じて、患者記録が 3Shape Dental Desktop の患者記録と一致していることを確認します。
6. データが取得され、[患者の詳細] パネルの [**患者データ**] タブに追加されます。

手術計画のインポート

1. DTX Studio Home の [**患者** ] リストで患者記録を選択します。
2. [**その他...**] をクリックします。

3. [手術計画のインポート]  を選択します。
4. 手術計画とレポートを選択します。
5. [インポート] をクリックします。

データの選択

患者画像の選択

患者記録の画像またはファイルを選択するには：

1. DTX Studio Home の [患者 ] リストで患者記録を選択します。
2. [患者データ] タブのサムネイルにカーソルを合わせ、空のチェックボックスをクリックするか、Ctrl (Mac の場合は Cmd) を押しながらサムネイルをクリックします。選択したサムネイルには色付きの枠線が表示されます。

クイックメニューが表示され、次の操作を実行できます。

- 選択した画像を GoShare で共有する .
- 選択した画像をエクスポートする .
- 選択した画像の取得日を調整する .
- 患者記録から選択した画像を削除する .

このメニューの上部で、選択を [クリア] できます。

データの共有

DTX Studio Go を介した患者データの共有 (GoShare 経由)

患者データは [DTX Studio Go](#) を介して歯科医院と共有できます。患者データを共有すると、追加の [GoShare] タブに概要が表示されます。

1. DTX Studio Home の [患者 ] リストで患者記録を選択します。
2. [共同編集]  をクリックします。
3. 以下のように共有する対象を選択します。
 - [DTX Studio Clinic]：患者記録全体 (DTX Studio Clinic 独自の暗号化形式) を共有するか、
 - [データを選択]：特定のデータを共有します。

または、パートナータイルの1つをクリックします。これらのパートナータイルを管理するには、[編集] をクリックしてタイルに表示する接続を選択し、[保存] をクリックします。
4. 目的のオプションを選択します。
5. [続ける] をクリックします。

6. Web ブラウザで DTX Studio Go が開き、作成した GoShare™ 症例が表示されます。一方、データはバックグラウンドでアップロードされます。
 - [**処方箋**] カードのテキストフィールドに備考を追加します。
 - 処方箋テンプレートを作成するには、[**簡単な備考を挿入**] をクリックして [**構成**] を選択します。[**簡単な備考を追加**] をクリックします。タイトルを追加し、カスタムテキストを入力して、[**保存**] をクリックします。[**閉じる**] をクリックします。
 - デフォルトの処方画像を変更するか、注釈を追加するには、処方画像にポインタを合わせて [**処方箋の編集**] を選択します。別の画像を選択するには、[**画像の変更**] をクリックします。
 - 患者情報を編集するには、右上隅にある鉛筆アイコンをクリックします。
 - 必要に応じて、(CB) CT 画像、臨床写真、口腔内画像、パノラマ画像、レポートなどの詳細情報または追加ファイルを提供します。
7. [**共有の開始**] をクリックします。
8. 患者データを共有するための接続を選択します。[**接続で共有**] フィールドで既存の接続を検索または選択してください。あるいは電子メールアドレスを入力してください。
9. [**送信**] をクリックします。受信アカウントは電子メールで通知されます。
10. 共有された症例が患者記録の [**GoShare**] の概要に追加されます。[**症例の表示**] をクリックし、共有された症例を DTX Studio Go で開きます。

3D 症例検討の共有

1. Clinic モジュールで、メニューアイコン  をクリックして患者メニューを開きます。
2. [**共有**]  をクリックし、[**3D 症例検討**] を選択します。
3. 以下のように目的のオプションを選択します。
 - [**3D データ (DICOM) を含める**]: お住まいの国で法律上必要な場合は、DICOM の生データを含めます。
 - [**現在のインプラント計画を含める**]: インプラントの詳細情報を追加します。
 - [**患者の匿名化**]: 患者名、生年月日、患者 ID を含めません。
4. [**共有**] をクリックします。
5. 3D 症例プレゼンテーションが DTX Studio Go にアップロードされ、症例に追加されます。
6. DTX Studio Go でプロセスを完了し、要求された情報を提供します。
7. 患者はオンラインで 3D 症例プレゼンテーションにアクセスできます。
8. 3D 症例プレゼンテーションは、患者記録の患者データに追加されます。

2D 画像を電子メールで共有するか、他社製アプリケーションに転送する

1. ワークスペースで展開された 2D 画像を右クリックし、[**画像をコピー**] を選択します。または、ビューアの左上隅にあるドロップダウン矢印  をクリックし、[**画像をコピー**] を選択します。
2. 電子メールクライアントまたは他社製アプリケーションを開き、関連する場所を右クリックし、[**貼り付け**] を選択します。

データのエクスポート

患者記録のエクスポート

1. DTX Studio Home の患者リストで患者記録を選択します。
2. [その他...] をクリックします。
3. [患者のエクスポート] をクリックします。
4. 必要に応じて、エクスポートする診断を選択します。
5. 目的のオプションを選択します。
6. [参照] をクリックしてデータのエクスポート先を選択し、[フォルダの選択] をクリックします。
7. [エクスポート] をクリックします。

患者データのエクスポート

1. データのエクスポート操作に進みます。
 - DTX Studio Home でアクションペインの [その他...] をクリックし、[データのエクスポート] を選択します。
 - Clinic モジュールで [エクスポート] をクリックし、[データ] を選択します。
2. エクスポートする画像を選択します。
3. [参照] をクリックし、目的のエクスポート先に移動します。
4. [フォルダの選択] をクリックします。
5. エクスポートモード、患者の匿名化、メタデータ、画像ファイル形式を選択します。
6. [エクスポート] をクリックします。

3D X 線ビューア用にエクスポート

3D X 線を CD や USB メモリで共有する：

1. DTX Studio Home でアクションペインの [その他...] をクリックし、[3D ビューア用にエクスポート] を選択します。
2. エクスポートする 3D X 線画像を選択します。
3. [参照] をクリックし、目的のエクスポート先に移動します。
4. [3D ビューア用にエクスポート] をクリックします。
5. 確認ダイアログで、[ファイルブラウザで表示] をクリックします。

DICOM 画像の印刷

DICOM 画像を印刷するには、DICOM ノード機能を有効にし、DTX Studio Core で DICOM プリンタを設定します。

1. Clinic モジュールで、患者メニューを開き、[DICOM の印刷] をクリックします。
2. [ページの追加] または [ページの削除] をクリックして、レポートページを管理します。
3. [印刷設定]、[ヘッダーとフッター]、各[画像]を設定します。
4. 選択したプリンタにレポートを送信するには、[印刷] をクリックします。

インプラント計画の X-Guide へのエクスポート

DTX Studio Clinic で完了したインプラント計画は、X-Guide™ にエクスポートできます。

1. DTX Studio Home の患者リストで患者記録を選択します。
2. [その他...] をクリックします。
3. [X-Guide にエクスポート]  をクリックします。
4. 必要に応じて、エクスポートするインプラント計画を選択します。
5. 目的のオプションを選択します。
6. [参照] をクリックしてデータのエクスポート先を選択し、[フォルダの選択] をクリックします。
7. [エクスポート] をクリックします。

スキヤンのリクエスト

スキヤンリクエストを処理したり、複数のスキヤンプロトコルを使用してスキヤンワークフローを開始（[ページを参照 31](#)）したりするには、DTX Studio Core との接続を確立する必要があります（[ページを参照 17](#)）。

スキヤンのスケジュール

患者のスキヤンをリクエストするには、次の手順に従ってください。

1. DTX Studio Home の患者リストで患者記録を選択します。
2. [[スキヤンリクエスト](#)]  をクリックします。
3. 必要に応じて、複数のスキヤンプロトコルを使用してスキヤンワークフローを開始します（[ページを参照 31](#)）。
4. デバイスのタイルにカーソルを合わせて、[[選択](#)] をクリックします。
5. スキヤンリクエストフォームに適切な情報を入力します。

注記

選択したモダリティまたはデバイスに応じて、フォームは異なります。

- 必要に応じて、[[スキヤン日](#)] と [[リクエスト元の歯科医](#)] を変更します。
 - 画像取得デバイスが複数のモダリティに対応している場合は、必要なモダリティを [[3D](#)]、[[CEPH](#)]（セファログラム）、[[OPG](#)]（PAN）、[[IOXRAY](#)]（2D 口腔内スキヤン）、[[IOS](#)]（3D 口腔内スキヤン）、[[IOCAM](#)]（口腔内写真）から選択します。必要に応じて、画像取得プログラムを選択します。
 - 歯式チャートで、スキヤンする領域を選択します。
 - 上顎洞領域をスキヤンする必要がある場合は、[[上顎洞](#)] を選択します。
 - 必要に応じて、画像取得の [解像度](#) を選択します。
 - 選択したデバイスが口腔内デバイスである場合は、[[テンプレート](#)] を選択し、[[画像取得プログラム](#)] を指定します。
 - 必要に応じて、オペレーターのために [[リクエストの備考](#)] を追加します。
6. [[スキヤンリクエストを作成](#)] をクリックします。
 7. スキヤンリクエストが追加されます。

スキヤンリクエストの検索とソート

スキヤンリクエストは、予定日順に並べ替えられています。

スキヤンリクエストリストのフィルタリング

1. DTX Studio Home サイドバーで、[[スキヤンリクエスト](#)]  をクリックします。
2. [[スキヤンリクエスト](#)] リストの見出しの横にあるフィルタ設定アイコン  をクリックします。
3. 選択すると [[今日](#)]（デフォルト）、[[過去 7 日間](#)]、[[今後 7 日間](#)]、または [[すべて](#)] のスキヤンリクエストが表示されます。

スキャンリクエストの検索

1. [[スキャンリクエストの検索](#)] フィールド **Q** に患者名（一部でも可）を入力します。
2. 検索ボックスにテキストを入力すると、スキャンリクエストリストが自動的にフィルタリングされます。検索結果が、予定日に基づいてソートされます。

検索条件を削除するには、検索フィールドで **X** をクリックしてください。

スキャンリクエストの管理

スキャンリクエストを編集、削除したり、完了済みとしてマークしたりするには、スキャンリクエストを選択し、[[その他のオプション...](#)] をクリックします。対応するアクションを選択してください。

スキャンワークフロー

QuickPrescribe 機能を使用すると、定義済みスキャンリクエストの特定のセットを使用して、さまざまなモダリティからの複数のスキャンで構成されるスキャンワークフローを作成できます。これらのスキャンワークフローは、すべてのワークステーションで使用できます。

まず DTX Studio Core でスキャンワークフローを定義してから、スキャンのスケジュールかキャプチャウィザードで適用してください。

スキャンワークフローの定義

1. 画面下部（Mac を使用している場合は画面上部）の通知領域にある DTX Studio のアイコン  をクリックします。
2. [[QuickPrescribe](#)] をクリックします。スキャンワークフローをまだセットアップしていない場合は、[[今すぐ始める](#)] をクリックします。
3. DTX Studio Core でスキャンワークフローの設定を完了します。

注記

詳細については、DTX Studio Core で、左下隅にある [[ヘルプ](#)] をクリックしてください。

4. スキャンリクエストまたはキャプチャウィザードでスキャンワークフローを選択します。

スキャンワークフローの適用

DTX Studio Core で定義したスキャンワークフローをスキャンリクエストウィザードまたはキャプチャウィザードで選択できます。

1. DTX Studio Home の患者リストで患者記録を選択します。
2. [[スキャンリクエスト](#)]  または [[キャプチャ](#)]  をクリックします。
3. [[QuickPrescribe](#)] をクリックします。

注記

- 結果を絞り込むには、検索フィールドにスキャンワークフロー（一部でも可）を入力してください。
 - 設定されているすべてのモダリティとパラメータを表示するには、リスト内のスキャンワークフロー名にカーソルを合わせてください。[[詳細](#)] をクリックしてください。
4. リスト内のスキャンワークフロー名にカーソルを合わせ、[[スキャンリクエストを作成 \(#\)](#)] をクリックします。数字は、選択したスキャンワークフローで作成されたスキャンリクエストの数を示します。
 5. 歯式チャートで、スキャンする診断領域を選択します。
 6. [[スキャンリクエストを作成](#)] をクリックします。

スキヤンの実行

スキヤンリクエストを最初に作成するかどうかにかかわらず、患者の診断前、診断中、または診断後にスキヤンを取得できます。

より正確にスキヤンするために、ソフトウェアの指示と技術的な通知に従うことを強くお勧めします。

予定されているスキヤンの実行

スキヤンリクエストに対してスキヤンを実行するには、次の手順に従ってください。

1. スキヤンリクエストカードで、[**開始**] をクリックします。
2. 複数のデバイスが接続されている場合は、そのデバイスのタイルをクリックします。
3. スキヤンモジュールまたは他社製スキヤンアプリケーションが開きます。
4. 指示に従います。
5. アクションを終了するには [**終了**] をクリックし、Clinic モジュールで患者記録を開くには [**診断を開く**] をクリックします。

即時スキヤンの実行

1. DTX Studio Home で患者記録を選択するか、Clinic モジュールで患者記録を開きます。
2. [**キャプチャ** ] をクリックします。
3. デバイスまたは直接フォルダのタイルにカーソルを合わせて、[**選択**] をクリックします。

注記

- 口腔内画像は正しい位置で自動的に回転します。この機能を無効にするには、[ページを参照 17](#) してください。
- 2D 画像をインポートまたは取得すると、レベルとウィンドウの値が自動的に設定されます。この機能を無効にするには、[ページを参照 17](#) してください。
- キャプチャウィザードでは、センサーサイズの異なる複数のセンサーをプラグインまたはプラグアウトして使用してください。使用されているセンサーは右上隅に表示されます*。
- 複数のセンサーがプラグインされている場合は、+ 記号が表示されます*。接続されアクティブになっているセンサーはすべて、スキヤンを取得する準備ができています。X 線が画像取得のトリガとなります。

* DTX Studio Clinic で直接サポートされているセンサーと PSP の場合。TWAIN を介して接続するデバイスの場合、この機能は制限されます。

口腔内センサーまたは IP デバイスによるガイドあり取得

テンプレートを使用して口腔内画像を取得するには、次の手順に従ってください。

1. 即時スキヤンを開始します。
2. [**テンプレート**] タブをクリックし、目的のテンプレートを選択します。
3. 取得するレイアウトと画像を選択します。
4. [**開始**] をクリックします。
5. スキヤンを実行するデバイスに移動します。
6. プレビューページで、取得した画像をチェックします。プレビュー画像にカーソルを合わせると、[**回転**]、[**反転**]、[**イメージフィルタ**] の表示 / 非表示、[**再度キャプチャ**] のオプションが表示されます。必要に応じて変更を加えてください。
7. [**終了**] をクリックします。

口腔内センサーまたは IP スキャナーデバイスによるガイドなし取得

テンプレートを使用せずに口腔内画像を取得するには、次の手順に従ってください。

1. 即時スキャンを開始します。
2. [**ガイドなし**] タブを選択します。
3. スキャンを実行するデバイスに移動します。

MagicAssist 自動検出をアクティブにしている場合は、以下の手順を参照してください。

- 右下隅に、MagicAssist 自動検出アイコンが表示されます ()。
- キャプチャウィザードで、歯が自動的に検出されます。これらの歯には青色のマークが付いています。MagicAssist ラベルを削除するには、歯をクリックしてください。
- 口腔内画像は、FMX チャートに自動的にマッピングされます。
- 必要に応じて、歯式チャートに未確認の画像を手動で示してください。

注記

デフォルトでは、MagicAssist の自動検出が有効になっています。これは、設定で無効にすることができます。

4. 必要に応じて、プレビューページで取得した画像をチェックし、歯の範囲を割り当てます。
 - 歯の範囲で指定した歯を削除する場合は、[**選択の消去**] をクリックしてください。
 - 必要に応じて変更を加えてください。プレビュー画像にカーソルを合わせると、[**回転**]、[**反転**]、[**イメージフィルタ**] の表示 / 非表示、[**再度キャプチャ**] のオプションが表示されます。
 - 必要に応じて、取得した画像を回転または反転してください。

アクション

アイコン

ショートカット

画像を反時計回りに回転する



[Alt+ ←] または [R]

画像を時計回りに回転する



[Alt+ →] または [Shift+R]

口腔内画像または臨床写真を水平方向に反転する



[U]

口腔内画像または臨床写真を垂直方向に反転する



[Shift+U]

5. [**終了**] をクリックします。

口腔内カメラによるガイドあり画像取得

テンプレートを使用して口腔内カメラ画像を取得するには、次の手順に従ってください。

1. 即時スキンを開始します。
2. [**ガイドあり**] タブを表示したままにします。
3. 口腔内カメラの場合は、取得する歯牙を選択します。
4. デバイスのボタンを押すか（利用可能な場合）、[**画像キャプチャ**] をクリックします。
5. 口腔内画像を撮影する別の歯を選択するには、キーボードの矢印キー（[**←**] または [**→**] ）を使用します。あるいは、歯の範囲内で歯をクリックするか、[**前へ**] または [**次へ**] をクリックします。

注記

1本の歯につき1枚の画像のみが必要な場合は、[**キャプチャ後に次の歯牙に進む**] を有効にし、次の歯に自動的に進むようにしてください。

6. [**終了**] をクリックします。

口腔内カメラによるガイドなし画像取得

テンプレートを使用せずに口腔内カメラ画像を取得するには、次の手順に従ってください。

1. 即時スキンを開始します。
2. [**ガイドなし**] タブをクリックします。
3. デバイスのボタンを押すか（利用可能な場合）、[**画像キャプチャ**] をクリックします。
4. 取得した画像を歯牙に割り当てるには、下部にある画像のサムネイルをクリックして、歯の範囲で対応する歯牙を選択します。

注記

画像を選択し、歯牙をクリックして他の歯牙にドラッグすることにより、複数の歯牙に画像を割り当てることができます。

5. [**終了**] をクリックします。

口腔内スキャン

3Shape TRIOS® スキャナー

1. [**キャプチャ**] をクリックします。
2. 3Shape 口腔内スキャナータイルにカーソルを合わせて、[**選択**] をクリックします。
3. 3Shape Dental Desktop アプリケーションでスキャンを開始します。

注記

3Shape TRIOS 口腔内スキャナーデバイスの統合方法については、『 [DTX Studio Core クイックガイド](#) 』を参照してください。

4. スキャンプロセスを完了します。
5. 画像は、[患者詳細] パネルの [**患者データ**] タブに追加されます。
 - 完了したスキャンリクエストには、チェックマークが付きます。
 - [**診断を開く**] をクリックして、DTX Studio Clinic で患者記録を開きます。

DEXIS スキャナー

スキャンモジュール*では、DEXIS IS ScanFlow を DTX Studio Clinic と統合することで、サポートされている DEXIS™ 口腔内スキャナーを使用できます。

* Windows コンピュータのみ、および口腔内スキャンデータの取得に使用したコンピュータで、スキャンの生データが含まれるフォルダが利用可能な場合。DEXIS IS ScanFlow の追加のソフトウェアモジュールをインストールする必要があります。

口腔内のスキャンデータの取得

1. 患者リストで患者記録を選択します。
2. [キャプチャ] をクリックします。
3. 口腔内スキャナータイルにカーソルを合わせて、[選択] をクリックします。
4. スキャンモジュール*の指示に従います。
5. 処理済みデータが患者記録に追加されます。
6. ScanFlow を使用して複数の咬合モデルをキャプチャした場合は、DTX Studio Clinic で上顎または下顎を右クリックし、[咬合] をクリックして選択を行います。

スキャン症例を再度開く

ローカルでキャプチャされた口腔内スキャンデータは、スキャンモジュール*で再度開くことができます。

注記

これは、スキャンデータの取得に使用したコンピュータでのみ可能です。

スキャンモジュールを再度開いてスキャンを編集するには、トリミングや測定などを行ってください。

1. 患者記録で、口腔内スキャンタイルをクリックします。
2. [ScanFlow で編集] をクリックします。

DEXIS IS ScanFlow スキャンの再開

ローカルでキャプチャされた口腔内スキャンデータは、ScanFlow で再度開いて、スキャンの編集、追加のスキャンの取得、トリミング、測定などを行うことができます。

1. 患者記録で、DEXIS IS デバイスの口腔内スキャンタイルを選択します。
2. [その他のオプション...] をクリックし、[ScanFlow で再開] を選択します。

高度な ScanFlow 機能の有効化

高度な ScanFlow 機能を有効にすると、DEXIS IS 3800 を IO CAM* モードで使用したり、DEXIS デバイスの生データをインポートしたりできます。

1. DTX Studio Home で [メニュー] をクリックします。
2. [設定] をクリックし、[DEXIS IS] を選択します。
3. [Launch IS ScanFlow をスキャンモードで起動する] を無効にします。

* IO CAM は、プレミアムライセンスと DEXIS IS 3800 デバイスがある場合にのみ使用でき、スキャンの編集、追加のスキャンの取得、トリミング、測定などを行うことができます。

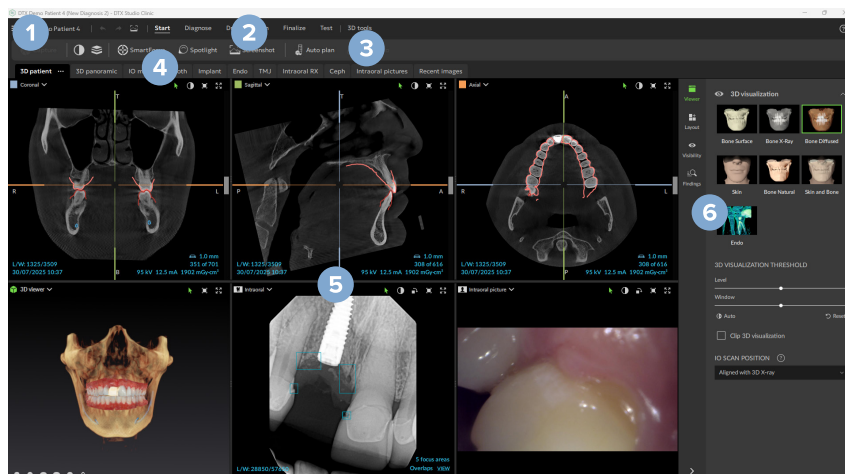
診断または治療計画

DTX Studio Clinic で患者記録を開いて、患者データを表示してチェックしたり、患者記録に所見や計測値を追加したりすることができます。

DTX Studio Home の[患者]リストで患者記録を選択し、[患者を開く]をクリックします。あるいは、患者リストで患者名をダブルクリックするか、[O] キーを押します。患者記録または Clinic モジュールを閉じるには、患者メニュー≡の[患者を閉じる]をクリックします。

この機能は DTX Studio Clinic のライセンスの種類によって異なります。

Clinic モジュールの解説



- 1 患者メニュー
- 2 メニューバー
- 3 ツールバー
- 4 ワークスペースバー
- 5 ワークスペース - SmartLayout™
- 6 スマートパネル

患者診断データ

Clinic モジュールで患者メニューを開くには、左上隅のメニューアイコン≡をクリックしてください。

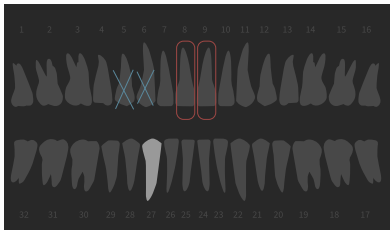
診断の管理

患者メニューでは、以下のような操作ができます。

- 新規診断の作成。
- 既存の診断を開く。
- 開いている診断の保存。

歯式チャート

患者メニューの歯式チャートには、開いている診断内における歯のステータスの概要が表示されます。



注記

患者が8歳未満の場合、乳歯の歯式チャートが表示されます。患者が成長したときに永久歯式チャートに移動するには、歯牙を手動で変更する必要があることに留意してください。

歯式チャートの編集

歯式チャートを編集するには、歯式チャートで歯をクリックし、次のいずれかを選択してください。

アイコン	アクション	説明
	交換	乳歯と永久歯を交換します。このオプションは、乳歯に対応する永久歯がある場合に使用できます。歯牙を交換した場合、乳歯のすべての所見が削除され、永久歯が健康な歯牙に設定されます。 注記 患者が8歳未満の場合、乳歯列が表示されます。
	欠損（空隙あり）	この歯は欠損しており、この場所に空隙があります。
	埋伏	この歯は埋伏歯になります（親知らずでよく使用されます）。
	挿入	歯牙を挿入します（乳歯列における永久大臼歯など）。
	欠損（空隙なし）	歯数不足を示します。

患者データ

歯式チャートの下に、開いた患者記録のスキャンおよび画像がデータタイプごとに表示され、取得日に基づいてソートされます。最終的なインプラント計画もここに表示されます。

開いた診断に患者データを含めるか除外するかを選択するには、タイルをクリックしてください。緑色の枠線のある画像が含まれます。

 3D X 線	 セファログラム
 口腔内スキャン	 臨床写真
 歯科技工所によるラボデザイン	 スクリーンショット
 OPG (パノラマ画像)	 フェイススキャン
 口腔内画像	

歯式チャートの上には、以下のオプションがあります。

 キャプチャ	データを直接取得します。
 インポート	開いている診断にデータをインポートします。
 エクスポート	データまたは患者診断レポートをエクスポートします。
 共有	3D プレゼンテーションを共有します。

3D および口腔内スキャンビューアの背景の設定

1. **[環境設定]** ウィンドウで、**[3D ビューア]** をクリックします。
2. **[無地]** を選択します。
3. ドロップダウンメニューで色を選択するか、**[カスタム]** を選択して他の色を選択します。
4. **[OK]** をクリックします。

デフォルトの画像ズームレベルの設定

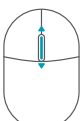
表示される画像のデフォルトのズームレベルを設定するには、次の手順に従ってください。

1. **[環境設定]** ウィンドウで、**[全般]** をクリックします。
2. **[デフォルト画像サイズ]** リストで、デフォルトの倍率を選択します。
3. **[OK]** をクリックします。

ビューアの操作

一般的なビューア操作にアクセスするには、ビューア内の任意の場所を右クリックしてください。オブジェクト（インプラント、注釈、フォーカス領域など）を右クリックすると、その操作が表示されます。

ビューアを操作するにはマウスを使用してください。デフォルトの 3D ビューアコントロールを DTX Studio Implant または Invivo のコントロールに変更するには、[全般] 環境設定メニューに移動してください。

アクション	3D ビューア	その他のビューアタイプ
 右クリック	オブジェクトとビューアのメニュー	オブジェクトとビューアのメニュー
 右クリックしながらドラッグ	3D モデルを回転させる	明るさ / コントラスト（デフォルト）または拡大と縮小
 [Ctrl] を押したままクリックしてドラッグ、または [Cmd] を押したままクリックしながらドラッグ	パン	パン
 [Shift] を押したままクリックしてドラッグ	拡大と縮小	拡大と縮小
 ホイールボタンをスクロール	拡大と縮小	リスライスのビューアのみ：スライスをスクロール

ワークスペース

ワークスペースバーからワークスペースを選択するか、利用可能な場合は、対応するショートカットキーを使用してください。

注記

画像またはデータが診断に追加されているワークスペースのみが表示されます。

ワークスペース	説明	ショートカットキー
3D 患者	読み込んだモデルをすべての面からチェックするには、マウス操作 (ページを参照 40) とキーボードショートカットを使用してください。または、以下の標準の臨床ビューアイコンを使用してください。  正面  背面  左側面  右側面  頭蓋方向  顎方向 口腔内モデルのワークスペースに移動するには、もう一度 [F2] キーを押してください (利用可能な場合)。	F2
3D パノラマ	3D パノラマ X 線画像は、ロードした 3D X 線データに基づいて生成されます。	F3
口腔内モデル	口腔内スキャンとフェイススキャンをチェックして比較します。 3D 患者ワークスペースに移動するには、もう一度 [F2] キーを押してください (利用可能な場合)。 注記 別のワークスペースに表示されるのは、最新の選択された口腔内スキャンまたはフェイススキャンだけです。	F2

ワークスペース	説明	ショートカットキー
歯	特定の歯に移動し、[レイアウト] スマートパネルを使用してすべての 2D データと 3D データを比較します。選択した歯に注釈を付けます (ページを参照 47)。 垂直ビューアの垂直スライダーを使用すると、歯の回転軸を中心としてスライスが回転します。状況に応じて、次のスライスヒントがリスライスの方向を示します。 – 舌側 / 頬側 (O/B) – 近心 / 遠心 (M/D) – 左 / 右 (L/R) 回転軸を調整するには、ページを参照 47 してください。 エンドワークスペースに移動するには、もう一度 [F4] キーを押してください (利用可能な場合)。	F4
インプラント	インプラントを計画し、チェックします (ページを参照 57 ページ)。 – リスライスをクリックしてドラッグするか、スクロールして希望する位置に移動します。 – 3D (CB) CT データの 3D リスライスビューアから、オブジェクト、先端またはショルダーポイントをクリックしてドラッグすることで、インプラントまたはアンカーピンを平行移動または回転させることができます。 サージカルテンプレートを作成する (ページを参照 59)。	F9
エンド	歯内診断と歯内療法の対象となる歯牙に焦点を合わせます。歯髄を表示するには、[ビューア] スマートパネルにある [エンド] 3D 表示をクリックしてください。 注記 3D X 線画像が読み込まれている場合、このワークスペースを利用できます。 – [歯根管] ビューアと [3D ビューア] は、対象の歯に焦点を合わせて表示されます。 – [歯牙の断面] ビューアは、歯牙の水平方向におけるいくつかの断面を表示する断面ビューアです。 – 歯根形態が自動的に検出されると (ページを参照 51)、または手動で定義されると (ページを参照 52)、歯根管が表示されます。 歯牙のワークスペースに移動するには、もう一度 [F4] キーを押します (利用可能な場合)。	F4
TMJ	顎頭と顎関節の領域をチェックします。	N/A

ワークスペース	説明	ショートカットキー
デンタル	レイアウト上の口腔内画像をチェックします（例：全顎 X 線写真）。 – 画像を展開したり画像フィルタや SmartLayout™ を使用するには、画像をダブルクリックしてください（ページを参照 46）。 – 別の画像に切り替えるには、[レイアウト] スマートパネルの概要にあるサムネイルをクリックしてください。あるいは、キーボード上の矢印（← ↑ ↓ →）または画面上の矢印（< >）を使用してください。 – 最初のレイアウトの概要に戻るには、画像をもう一度ダブルクリックするか、[Esc] キーを押すか、矢印 ← をクリックしてください。 – 複数枚の画像は、同じ 1 つのプレースホルダーで重ねることができます。レイヤーアイコン（）をクリックすると、すべての画像が表示されます。比較アイコン（> <）をクリックすると、画像を比較できます。 – 別のプレースホルダーの配置を選択するには、ワークスペースの左上隅にあるドロップダウン矢印をクリックします。[日付別に表示] が選択されていることを確認してください。次に [すべてのテンプレート] を選択し、テンプレートオプションの 1 つを選択します。	F6
パノラマ	2D パノラマ X 線画像（パノラマ）またはマルチレイヤーパノラマ画像を表示します。	F5
セファログラム	正面や側面のセファログラムを表示します。[CEPH] ツールを使用して、ロードした 3D X 線データに基づいてセファログラムを計算したり、2D セファログラムをインポートしたりすることができます。	F7

ワークスペース 説明

ショートカットキー

臨床写真

患者の臨床写真を表示します。

F8

- 画像を展開したり画像フィルタや SmartLayout™ を使用するには、画像をダブルクリックしてください（[ページを参照 46](#)）。
- 別の画像に切り替えるには、[**レイアウト**] スマートパネルの概要にあるサムネイルをクリックしてください。あるいは、キーボード上の矢印（← ↑ ↓ →）または画面上の矢印（< >）を使用してください。
- 最初のレイアウトの概要に戻るには、画像をもう一度ダブルクリックするか、[Esc] キーを押すか、矢印←をクリックしてください。
- 複数枚の画像は、同じ1つのプレースホルダーで重ねることができます。レイヤーアイコン（）をクリックすると、すべての画像が表示されます。比較アイコン（>|<）をクリックすると、画像を比較できます。
- 別のプレースホルダーの配置（[**歯列矯正**]、[**カメラ**]、または[**臨床写真**]）を選択するには、ワークスペースの左上隅にあるドロップダウン矢印をクリックします。[**日付別に表示**] が選択されていることを確認してください。次に[**すべてのテンプレート**] を選択し、テンプレートオプションの1つを選択します。

変更する画像をダブルクリックします。臨床写真を反転、回転、トリミング、または傾き補正するには、該当する写真を右クリックして対応する操作を選択してください。または、ワークスペースの左上隅にあるドロップダウン矢印をクリックしてください。

ワークスペース	説明	ショートカットキー
口腔内写真	臨床写真に似ていますが、口腔内カメラ写真が含まれています。 歯式チャート上で歯牙を選択し、歯牙のワークスペースで画像取得に口腔内カメラを使用すると、取得した画像が選択した歯牙に自動的に割り当てられます。 割り当てられた歯牙の番号が、臨床写真ワークスペースに表示されます。 - 画像を展開したり画像フィルタや SmartLayout™ を使用するには、画像をダブルクリックしてください（ページを参照 46）。 - 別の画像に切り替えるには、[レイアウト] スマートパネルの概要にあるサムネイルをクリックしてください。あるいは、キーボード上の矢印（← ↑ ↓ →）または画面上の矢印（< >）を使用してください。 - 最初のレイアウトの概要に戻るには、画像をもう一度ダブルクリックするか、[Esc] キーを押すか、矢印← アイコンをクリックしてください。 - 複数枚の画像は、同じ1つのプレースホルダーで重ねることができます。すべての画像を表示するにはレイヤーアイコンをクリックし、これらの画像を比較するには比較アイコンをクリックしてください。 - 別のプレースホルダーの配置を選択するには、ワークスペースの左上隅にあるドロップダウン矢印をクリックします。[日付別に表示] が選択されていることを確認してください。次に[すべてのテンプレート] を選択し、テンプレートオプションの1つを選択します。	N/A
最近の画像	[最近の画像] ワークスペースには、最近インポートした画像や最近取得した画像がすべて表示されます。デフォルトでは、このワークスペースに過去 7 日間の画像が表示されます。これを変更するには、DTX Studio Clinic の環境設定に移動してください。	F12
口腔内カメラ	口腔内カメラ取得専用のワークスペース。	F10

ワークスペースのカスタマイズ

- [**環境設定**] ウィンドウで、[**全般**] をクリックします。
- [**デフォルトワークスペース**] リストで、Clinic モジュールを開いたときにデフォルトで表示されるワークスペースを選択します。標準設定は[**最近のデータ**] で、最近インポートした画像や最近取得した画像に関連付けられたワークスペースが表示されます。
- 必要に応じて、[**最近の画像**] ワークスペースに表示する画像について、[**最近の画像**] フィールドの日数を変更します。デフォルト値は 7 日です。
- [**OK**] をクリックします。

SmartFocus™ で関連する歯の情報をすべて表示

SmartFocus™ に対応しているビューアでは、スペースキーを押してこの機能を有効にしてください。あるいは、[**スタート**] ツールバーの SmartFocus™ アイコン () をクリックします。

- 歯にカーソルを合わせると、歯番号が表示されます。歯のエナメル質、象牙質、歯髄腔は識別しやすいよう、異なる色でハイライトされます。
- 歯のワークスペースに移動し、必要に応じてビューアに特定の歯のデータをロードするには、歯牙の領域をクリックしてください。
- SmartFocus™ が歯牙の範囲外で使用された場合は、作業中のワークスペースは指示された点を中心とします。

SmartLayout™ での表示のカスタマイズ

[**レイアウト**] スマートパネルを使用してビューアを追加または削除したり、ビューアの比率を変更したりすることで、ワークスペースをカスタマイズできます。

- ワークスペースに別のビューアを追加するには、[**レイアウト**] スマートパネルで、任意のタイルをクリックしてください。
- ワークスペースからビューアを削除するには、そのタイルを再度クリックしてください。
- ビューアの比率を変更するには、ウィンドウプリッターのいずれかをドラッグしてください。
- ビューアを閉じるには、ビューアの左上隅にあるドロップダウン矢印をクリックしてください。[**ビューアを閉じる**] を選択してください。あるいは、[Q] キーを押してください。
- モダリティ順または日付順にソートするか、選択した画像が最初に表示されるようにソートするには、[**並べ替え基準**] ドロップダウンメニューをクリックして、[**モダリティ**]、[**日付**]、[**最初に選択済み**] のいずれかを選択してください。
- ワークスペースのレイアウトを保存するには、ワークスペースのタイトルの横にある [**その他のオプション...**] をクリックし、[**ワークスペースのレイアウトの保存**] を選択してください。このレイアウトは、新規患者診断のためのデフォルトのレイアウトとして設定されます。ビューアをリセットするには、[**ワークスペースのリセット**] をクリックしてください。

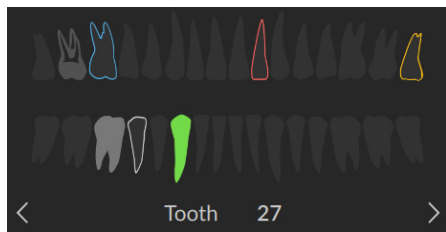
サムネイルバーからの画像の配置

[**デンタル**] ワークスペースと [**臨床写真**] ワークスペースの下部にあるサムネイルバーには、診断に追加されているもののワークスペースビューアには表示されていない画像が含まれます。

- まだ自動的にソートされていない口腔内画像をソートして配置するには、[**ソート**]  をクリックします。
- ワークスペースに口腔内画像を手動で追加するには、このサムネイルバーから画像をドラッグし、プレースホルダーの上にドロップします。
- プレースホルダーにすでに画像が含まれている場合、画像は重ねられます。最新の画像が一番上に表示されます。スタック内のすべての画像を表示するには、レイヤーアイコン () をクリックします。

スマートパネル歯式チャート

[歯牙] ワークスペースと[エンド] ワークスペースでは、スマートパネルの上に歯式チャートが表示されます。



- データがワークスペースに表示されている有効な歯牙は、緑色でハイライトされます。
- 別の歯牙を選択するには、歯式チャートで歯牙をクリックしてください。
- 歯式チャートの下にある[前へ]アイコン(<)をクリックすると前の歯牙に移動でき、[次へ]アイコン(>)をクリックすると次の歯牙に移動できます。
- 少なくとも1つの所見が追加されている歯牙は、その輪郭が色付きで示されます。色は、所見の治療ステータスによって異なります。

治療ステータス	色	説明
状態	灰色	この所見は重大ではないものの、時間の経過に伴う変化を注意深く観察する必要があります。
治療計画	赤色	治療を必要とする所見です。
経過観察	オレンジ色	初期段階で発見された所見であり、経過観察が必要です。
完了済み	青色	この所見の治療は完了しました。

骨閾値の調整

骨閾値を調整するには：

- 3DビューアのCB(CT)データを右クリックして、[骨閾値]を選択してから、スライダーを使用して目的の閾値に設定してください。
- または、[ビューア]スマートパネルで、[3D表示閾値]スライダーを使用してください。

リスライスの調整

- リスライスを移動する**には、スクロールするか、リスライスラインをクリックしてドラッグしてください。あるいは、スライダーを使用してください。
- リスライスを回転させる**には、リスライスのいずれかの終端をクリックしてドラッグしてください。ビューア内でマウスをドラッグして、ビューアの中心点を軸にして画像データを回転させてください。

リスライス位置が保存されます。デフォルトの位置に戻すには、リスライスビューアを右クリックし、[リスライス軸をリセット]を選択してください。

3D ボリュームのクリップ

3D ビューアで、任意の場所をクリックしてアクティブにします。次に[3D 患者]、[歯牙]、[3D 検査]のワークスペースの[ビューア]スマートパネルで、[3D 表示のクリップ]を選択すると、3D ボリュームの一部を非表示にして、特定の領域を確認できます。

ワークスペースでの歯科用口腔内カメラの使用

以下の手順により、USB 歯科用口腔内カメラを[口腔内カメラ]ワークスペース内で直接使用するか、別のワークスペース内から使用して、口腔内画像を取得します。

1. [口腔内カメラ]ワークスペースタブまたは任意のワークスペース内をクリックし、[カメラ]スマートパネルをクリックします。
2. 必要に応じて、カメラデバイスのタイルをクリックします。
3. デバイスのボタンを押して、画像を取得します。あるいは、下部にある[画像キャプチャ]をクリックします。

患者画像の分析

ツールバーには、診断、測定、治療の計画、スキャンデータの編集を行うためのツールがあります。

一部のツールは、すべてのワークスペースで利用できないことがあります。使用できないツールはグレー表示になっています。一部のツールは、ドロップダウンメニュー（∨）にまとめられています。ドロップダウンメニューにグループ化された注釈ツールおよび測定ツールでは、直前に使用したツールが表示されます。



警告

測定の精度は、画像データ、使用されるスキャナーのハードウェア、キャリブレーション設定および取得設定によって異なります。測定値の精度が画像の解像度より高くなることはありません。DTX Studio Clinic ソフトウェアでは、ユーザーが選択した点に基づいて、小数点一桁に四捨五入した値が報告されます。

ツールバーのタブの1つをクリックすると、対応するツールに移動します。

ツール	ツールバーのパス	説明
3D チェック	診断 >	3D モデルをクリックするときに、ベースになるリスライスをチェックします。 – リスライスは、オーバーレイスライスのエクスポローラウィンドウに表示されます。 – アクティブな画像フィルタとスライスの厚さは、スライスのエクスポラビューにも適用されます。 – すべてのリスライスを確認するにはスクロールしてください。 – 3D モデルは、ベースとなるリスライスをチェックしている間も回転可能です。 右クリックして終了します。

ツール	ツールバーのパス		説明
3D 症例検討	完了 >		3D 症例検討の共有。
歯の追加 / 削除	3D ツール > IO スキャン の設定	 	歯牙を仮想的に作成または抽出します。デフォルトでは、欠損歯が選択されています。歯牙の作成と抜歯を同時に行うには、既存の歯牙の位置をクリックしてください。コンピュータ上で歯牙の作成か抜歯のいずれかのみを行うには、歯牙を右クリックして[歯牙の作成]または[抜歯]のアクションを選択してください。[次へ]をクリックして、最終結果を確認してください。[終了]をクリックします。 注記 元の口腔内スキャンを表示するには、[表示]スマートパネルをクリックしてください。変更後の口腔内スキャンを選択し、[その他のオプション...]をクリックして[元のスキャンモデル]を選択します。もしくは、ワークスペースビューアで口腔内スキャンモデルを右クリックし、[口腔内スキャン]を選択して[元のスキャンモデル]を選択します。 仮想歯牙を調整するには、[調整]スマートパネルの[平行移動]、[回転]、または[拡大縮小]オプションを使用します。[再計算時に位置をロック]を選択すると、[仮想歯牙を再計算]をクリックして MagicAssist を再度実行したときに、仮想歯牙がこの位置に固定されます。
パノラマ曲線の調整	3D ツール > 3D X 線設定	 	パノラマ曲線を調整します。必要に応じて、ポイントや歯牙を指定してください。歯牙がはっきり表示されない場合は、スクロールするか、右側のグレーのスライダーを使用して、歯牙のセットアップを示す平面に横断面リスライスの位置を合わせてください（ほぼ咬合面に収束します）。 必要に応じて、以下のように曲線を調整してください。 - 曲線の形状を調整するには、個々のコントロールポイントをクリックしながらドラッグしてください。 - 新しいコントロールポイントを追加するには、曲線をクリックしてください。 - 完成した曲線を移動するには、周辺領域をクリックしながらドラッグしてください。
方向の調整	3D ツール > IO スキャン の設定	 	口腔内スキャンの向きを調整します。

ツール	ツールバーのパス	説明
患者の方向の調整	3D ツール > 3D X 線設定	  患者モデルの方向を編集します。3D 患者モデルの方向は、3D ビューアでモデルを平行移動して回転することによって目的の位置に設定することができます。 1. パンアイコン（）または回転アイコン（）をクリックするか、[Tab] キーを押して回転モードと平行移動モードを切り替えます。選択したモードは緑色で表示されます。 2. モデルをドラッグし、基準線と位置が正しく合うまで移動します。 3. [終了] をクリックします。
歯の検出の調整	3D ツール > 3D X 線設定	  歯牙の位置を調整します。歯式チャートで、キャリブレーションする歯牙を選択してください。横断面リスライスの正しい位置に歯牙の表示をドラッグしてください。垂直リスライス上で、歯牙の軸を調整します。
フェイススキャンを 3D X 線にアライメント	3D ツール > ボリュームのアライメント	  フェイススキャンを 3D X 線にアライメントします。
フェイススキャンを IO スキャンにアライメント	3D ツール > ボリュームのアライメント	  フェイススキャンを口腔内スキャンにアライメントします。
口腔内スキャンを 3D X 線にアライメント	3D ツール > ボリュームのアライメント	  3D X 線データ上の口腔内スキャンをアライメントまたは再アライメントします。
気道の解析	診断 > 3D セグメンテーション	  気道を解析します。ランドマークを指定して、関心領域を囲むボックスを作成してください。[終了] をクリックします。気道の容積と最も狭窄している領域が[3D 患者]ワークスペースで視覚化されます。
アンカーピン	プラン >	 アンカーピンの設置計画を立てます。
角度	描画 >	  角度を測定します。3 つのポイントをクリックしてください。
すべて承認	診断 > フォーカス領域	  検出されたフォーカス領域を承認し、所見として登録します。
領域	描画 >	  領域を測定します。
矢印	描画 >	  矢印を描画します。

ツール	ツールバーのパス		説明
自動エンド	開始 >		ソフトウェアで、初期の根管経路を検出して算出します。
自動計画	計画 / 開始 > 自動計画		ソフトウェアで初期インプラント計画を算出します。
輝度コントラスト	開始 >		明るさとコントラストを調整するには、ビューア上で次のようにドラッグします。 - 水平方向：コントラストを変更します。 - 垂直方向：明るさを変更します。 注記 明るさとコントラストのツールをグレースケール画像で使用すると、それに応じてレベルとウィンドウの値が更新されます。
キャプチャ	開始 >		画像をキャプチャします。
セファログラム	診断 >		インポートした 3D X 線データに基づいて、3D セファログラムを生成します。
口腔内スキャンのアライメントの確認	3D ツール > ボリュームのアライメント		口腔内スキャンと 3D X 線のアライメントを確認してください。
円	描画 >		円を描画します。
IO スキャンを結合する	3D ツール > IO スキャンの設定		新しい口腔内スキャンを追加する際は、既存の口腔内スキャンから関連する項目とアライメントをコピーしてください。
口腔内スキャンを比較	3D ツール >		口腔内スキャンを比較して、歯肉退縮、歯牙の摩耗、その他の違いを追跡します。参照スキャンと比較する口腔内スキャンを選択してください。[終了]をクリックします。 デフォルトでは、色付きの距離マップが適用されます。互いにアライメントされた 2 つのスキャンを表示するには、[ビューア]スマートパネルで、[オーバーレイ]を選択してください。比較を無効にするには、[スキャンの比較]をオフにしてください。
レポートの作成	完了 >		レポートの作成。

ツール	ツールバーのパス		説明
カスタムリスライス	診断 >		3D 患者ワークスペース（コロナル / サジタル / アキシャル）の任意のリスライスビューアでカスタムのリスライスを描画して、（CB）CT データを詳細にチェックするカスタムのリスライスを作成します。たとえば、根管にマークを付けてチェックしたり、注釈を付けたりします。 カスタムのリスライスを [移動する] には、リスライスラインをクリックしてドラッグしてください。 カスタムのリスライスを [回転させる] には、リスライスの終端の1つをクリックしてドラッグしてください。
TMJ 領域を指定します。	3D ツール > 3D X 線設定		TMJ 領域を指定します。このウィザードに示されているように、顎頭の位置を確認してください。[終了] をクリックします。TMJ ワークスペースが開きます。左右の顎頭の位置を比較して、顎関節領域をチェックしてください。
距離	描画 >		直線距離を測定します。画像上の 2 点をクリックして、距離を指定してください。 画像のキャリブレーションがまだ済んでいない場合は、[参照値] を入力してください。キャリブレーション測定がシーンに表示され、キャリブレーションオブジェクトが [表示] スマートパネルに追加されます。 インプラントの先端またはショルダーポイントをクリックすると、測定値がそのインプラントにリンクされます。そのインプラントを移動すると、リンクされた測定値が更新されます。 測定値（およびその精度）が表示されます。
根管走行を描画	3D ツール > 3D X 線設定		各根管の根尖部に基準点を指定して、根管の経路を定義します。
データのエクスポート	完了 >		患者データのエクスポート。
3D モデルの生成	3D ツール >		下顎骨、上顎骨、およびセグメント化された歯の 3D モデルを生成します。
HU 値	描画 >		あるポイントの HU 値を測定します。領域の任意のポイントをクリックして HU 値またはグレー値を測定してください。
すべて無視	診断 > フォーカス領域		検出したフォーカス領域を無視します。
インプラント	プラン >		手動でインプラントを計画します。

ツール	ツールバーのパス		説明
インプラントの角度	プラン >		インプラント間の角度を測定します。
ラインの太さ	描画 >		注釈の線の太さを選択します。
下顎	描画 > 平面を追加		下顎基準面を追加します。
マスクボリューム	3D ツール > 3D X 線設定		患者モデルの余分な部分を切り取って、クリーンアップします。領域内の任意のポイントをクリックして、削除する必要のあるセクションの周囲の描画を開始してください。確定するには右クリックしてください。 注記 元の患者モデルを復元するには、[表示] スマートパネルで、[3D 表示] の横にある [その他のオプション...] をクリックし、[3D モデルのリセット] を選択してください。
新規インプラント計画	計画 > 自動計画		別のインプラント計画を追加します。完了したら、[インプラント計画] スマートパネルでインプラント計画を切り替えます。
NobelGuide	プラン >		ノーベルバイオケアの NobelGuide を作成し、オーダーします。
OPG / PAN	診断 >		パノラマを生成します。パノラマ(リスライス)ビューは、2D 画像として患者データに追加されます。生成された画像が [3D パノラマ] ワークスペースで開きます。
製品のオーダー	完了 >		ノーベルバイオケアにインプラント計画のアイテムをオーダーするか、製品番号をコピーしてください。
すべてを平行化	プラン >		同じ顎のすべてのインプラントを、選択したインプラントと平行に配置します。
ペン	描画 >		折れ線を描画します。すべての線は、[表示] スマートパネルに 1 つの注釈として表示されます。
鉛筆	描画 >		フリーフォームで線を描画します。
リスライスの厚さ	開始 >		3D リスライスビューアのスライスの厚さを設定します。3D リスライスビューアをクリックして水平方向にドラッグし、スライスの厚さを設定してください。右クリックして終了します。 注記 デフォルトのスライスの厚さを設定するには、DTX Studio Home の設定または DTX Studio Clinic の環境設定にある [画像設定] タブに移動してください。右上のドロップダウンメニューで、[3D リスライス]、[3D パノラマ]、または [歯] を選択します。[リスライスの厚さ] ドロップダウンメニューで目的の厚さを選択してください。

ツール	ツールバーのパス		説明
自動設定の実行	3D ツール > 3D X 線設定		MagicAssist アルゴリズムを使用して、(CB) CT データと下顎神経に関する注釈を自動的にセットアップします。自動検出されたすべてのポイントは手動で調整できます。 自動検出された属性を含む 3D X 線データは、右下隅に [自動] ラベルで示されます。
自動設定の実行	3D ツール > IO スキャンの設定		口腔内スキャンを自動的にセットアップします。
検出の実行	診断 > 重点分野		歯科所見が観察される可能性のある 2D 口腔内 X 線画像のフォーカス領域を検出します (ページを参照 55)。
スクリーンショット	開始 >		スクリーンショットをキャプチャします。キャプチャしたスクリーンショットは、[臨床写真] ワークスペース、[レイアウト] スマートパネル、および DTX Studio Home 患者データに追加されます。キャプチャしたスクリーンショットをレポートに追加することもできます (ページを参照 47)。
セグメント	描画 >		距離を連続して測定します。最初のポイントをクリックしてください。次の各ポイントをクリックしてください。右クリックして終了します。 インプラントの先端またはショルダーポイントをクリックすると、測定値がそのインプラントにリンクされます。そのインプラントを移動すると、リンクされた測定値が更新されます。
SmartFocus	開始 >		歯牙を選択して、その歯牙に関連するすべてのデータを表示します。
スポットライト	開始 >		画像の領域を拡大するか (デフォルト設定)、適用したフィルタを元の画像と比較します。拡大レベルを調整するには、マイナス (-) キーとプラス (+) キーを使用してください。macOS では、Shift キーとプラス記号 (+) を同時に押すと、拡大表示されます。 スポットライトの動作を変更するには、DTX Studio Clinic の環境設定に移動してください。
サージカルテンプレート	プラン >		ローカル製作用のサージカルテンプレートを作成します。サージカルテンプレートの範囲を定義し、正しいスリーブのタイプを設定してください。[終了] をクリックします。

ツール	ツールバーのパス	説明
テキスト	描画 > 	画像にテキストを追加します。
神経トレース	診断 > 3D セグメンテーション 	神経管を指定します。最初のアンカーポイントをクリックしてください。次の各アンカーポイントをクリックしてください。右クリックして終了します。 下顎管に関する注釈を調整するには、ビューアのアンカーポイントを動かしてください。 すべてのアンカーポイントは、[表示] スマートパネルに1本の線として表示されます。
上顎	描画 > 平面を追加 	上顎基準面を追加します。
垂直	描画 > 平面を追加 	垂直基準面を追加します。

診断所見の追加

[所見] スマートパネルでは、歯の病変、顎関節の問題、または歯に関するその他の診断所見を記録できます。

- 歯牙に定義済みの診断所見を追加するには、[所見] スマートパネル内の [所見を追加] 検索フィールドを使用して、所見を選択または入力します。
- カスタムの診断所見を追加するには、[所見を追加] 検索フィールドにカスタム名を入力し、[Enter] キーを押してください。
- 必要に応じスクリーンショットを追加するには、所見にカーソルを合わせ、右矢印をクリックして詳細パネルを開き、[スクリーンショット] の下にあるプラスアイコンをクリックします。
- 必要に応じて、所見詳細パネルで、ドロップダウンメニューをクリックしてステータスを割り当ててください。
- 所見を削除するには、所見にカーソルを合わせ、右矢印をクリックし、[その他のオプション…] をクリックしてから、[削除] を選択します。

注記

- 歯牙のワークスペースでは、ステータスは歯式チャートにも視覚的に示されます。
- 歯牙のワークスペースで所見を追加した場合、その所見は特定の歯に追加されます。
- 別のワークスペースで所見を作成した場合は、歯式番号のプレースホルダーをクリックし、歯式番号を入力して、特定の歯牙に所見を割り当ててください。

フォーカス領域検出

注記

本取扱説明書に記載されている機能は、国や地域によっては未認可、未販売、または未承諾の場合があります。

DTX Studio Clinic では、2D 口腔内 X 線画像 (IOR) でフォーカス領域を自動的に検出できます。IOR キャプチャデバイスは、デジタルセンサーかアナログ PSP プレートのものでかです。

フォーカス領域検出は AI を利用したアルゴリズム（人工知能）であり、畳み込みニューラルネットワークを使用して画像を分割し、歯科所見またはアーチファクトのキャプチャが存在する可能性がある関心領域を特定します。

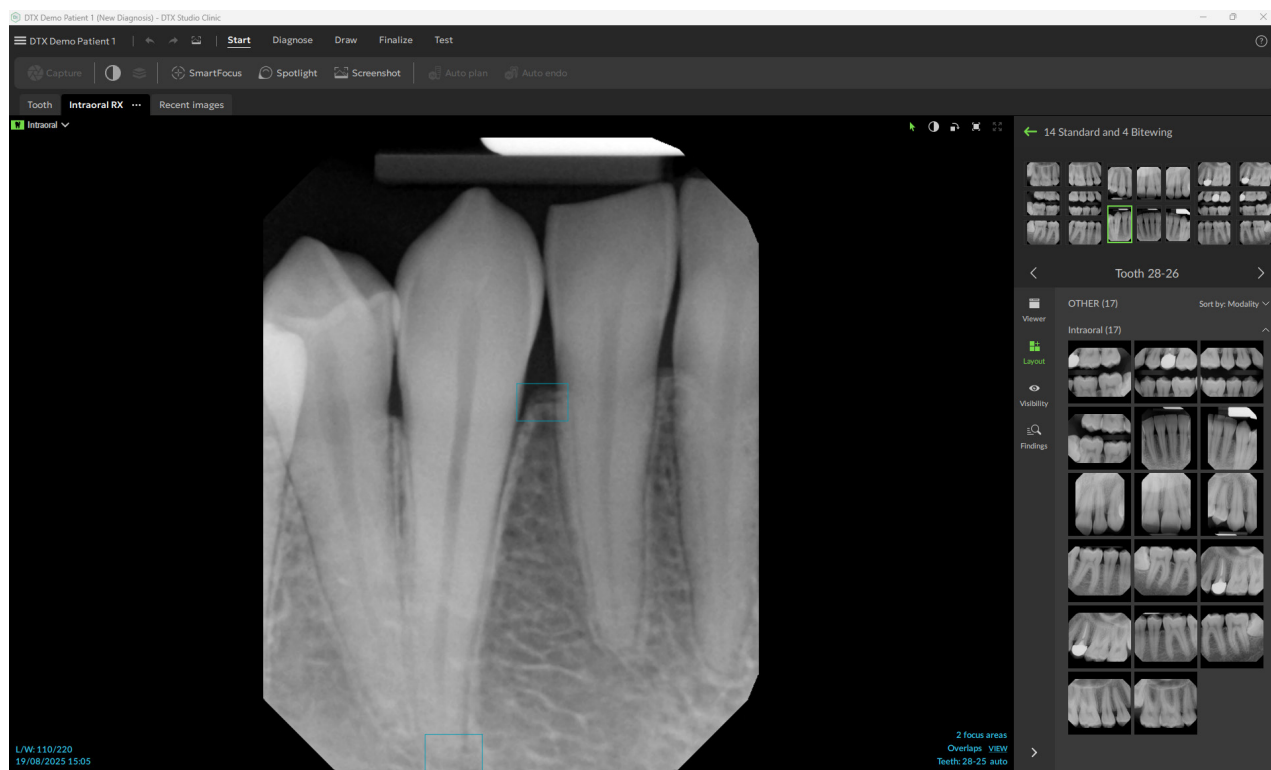
対応しているフォーカス検出エリアは以下のとおりです。

- 歯科所見：う蝕、根尖病変、根管欠損、辺縁部欠損、ボーンロス（骨吸収）、および歯石。
- アーチファクトのキャプチャ：オーバーラップとスクラッチ。

フォーカス領域検出の開始

口腔内画像をキャプチャまたはインポートすると、フォーカス領域検出が自動的に実行され、画像に特別な注意が必要な領域が含まれているかどうかを確認できます。これは、画像の上を走る青い線で確認できます。MagicAssist の設定で無効になっている場合は、[診断] ツールバーの [フォーカス領域] > [検出実行] をクリックします。

- 画像に歯科所見の可能性がある場合、青い [フォーカス領域検出] アイコン（) が画像の左上隅に数値と共に表示され、歯科所見の数が表示されます。
- 画像に青いアイコンが含まれていない場合は、歯科所見の可能性が検出されなかったか、画像がチェックされていません。これは、潜在的な歯科所見がないという意味ではありません。この機能を使用するときは、注意が必要です。
- 画像に複数の歯牙や傷が重なっている可能性がある場合は、右下に通知が表示されます。この通知を確認するには、[表示] をクリックしてください。



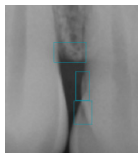
フォーカス領域検出の管理

1. フォーカス領域検出が完了したら、フォーカス領域検出アイコンのある画像をダブルクリックします。

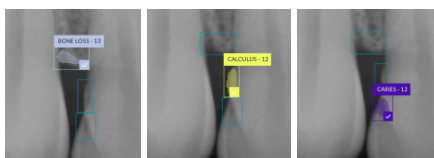
注記

本取扱説明書に記載されている機能は、国や地域によっては未認可、未販売、または未承諾の場合があります。

- フォーカス領域は口腔内画像上で青い四角形で表示されます。



- フォーカス領域にカーソルを合わせると、特定の色、歯番号（既知の場合）、および検出された潜在的な歯牙所見の種類を含む所見が表示されます。



分析後、フォーカス領域を左クリックして潜在的な歯科所見を受け入れるか、フォーカス領域を右クリックして拒否するかを選択してください。



2. 受け入れることを選択すると、フォーカス領域は診断所見に自動的に変わります。これは[**所見**]スマートパネルに追加されます。

フォーカス領域は[**表示**]スマートパネルにも一覧表示され、スマートパネルの表示機能の表示アイコンで表示と非表示を切り替えることができます。

インプラントと治療の計画

[**計画**] ツールバーには、治療計画を立てるためのツールが用意されています。これらのツールは、(CB) CT データまたは 3D X 線にアライメントされた口腔内スキャンを含むすべてのワークスペースで使用できます。

自動計画

ソフトウェアが1本の歯牙または隣接する2本の歯牙の初期インプラント計画を生成させるには、口腔内スキャンを 3D X 線と合成する必要があります。

注記

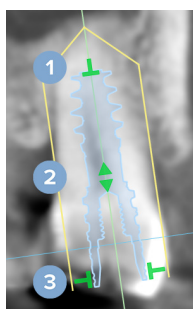
自動計画の適用には患者に3本以上の歯牙がある必要がありますが、このソリューションは1本のインプラントだけでなく、隣接する2本のインプラントや隣接する2本の歯牙にブリッジを装着する場合も想定して最適化されています。

1. メニューバーで[**計画**]をクリックします。
2. [**自動計画**]をクリックします。

- 必要に応じて生成されたインプラント計画を調整し、[次へ] をクリックします。
- 検出された歯牙を確認し、[終了] をクリックします。
- 計算されたインプラント位置がシーンに表示されます。インプラントは、位置が調整されるまではスマートパネルで [自動] と表示されます。

インプラントの配置

- メニューバーで [計画] をクリックします。
- インプラントのアイコン () をクリックします。
- インプラントのショルダーとチップを示します。
- [インプラント計画] スマートパネルで、インプラントの詳細を設定し、インプラントのブランドと種類を選択します。最近使用したインプラントのうち、最大 8 件がリストに表示されます。別のインプラントのブランドや種類を選択するには、[+ インプラント] を選択します。
- インプラントにカーソルを合わせると、利用可能な領域が表示されます。カーソルの表示が変わり、平行移動 () または回転 () モードであることを示します。クリックしてドラッグすると、インプラントを移動または回転させることができます。3D ビューアでは、Ctrl キー (Mac の場合は Cmd キー) を押したままドラッグして、インプラントを移動させたり、その軸に沿って回転させたりできます。



- 長さを調整します。
- 左右または上に移動します。
- 直径を調整します。

注記

インプラントまたはアンカーピンを変更したら、必ず作成したサージカルテンプレートを更新してください。[インプラント計画] スマートパネルのタイルにカーソルを合わせ、[更新] を選択します。

アンカーピンの追加

- メニューバーで [計画] をクリックします。
- アンカーピンアイコン () をクリックします。
- アンカーピンのショルダーとチップを示します。
- アンカーピンにカーソルを合わせると、利用可能な領域が表示されます。カーソルの表示が変わり、平行移動 () または回転 () モードであることを示します。クリックしてドラッグすると、アンカーピンを移動または回転させることができます。3D ビューアでは、Ctrl キー (Mac の場合は Cmd キー) を押したままドラッグすると、アンカーピンを移動させたり、その軸に沿って回転させたりできます。

すべてのインプラントを平行に埋入

インプラントを基準インプラントに平行に埋入するには、次の手順に従ってください。

1. 並行に埋入するインプラントを右クリックします。
2. **[並行]**を選択します。
3. 基準インプラントを選択します。

注記

平行に埋入するのは、アバットメントまたはインプラントのプラットフォームです。

同じ顎にすべてのインプラントを並行に埋入するには、次の手順に従ってください。

1. 基準とするインプラントを選択してください。
2. メニューバーで**[計画]**をクリックします。
3. **[すべてを平行化]**をクリックします。

インプラントまたはアンカーピンのロック

インプラントまたはアンカーピンをロックするには、いずれかのビューアでオブジェクトを右クリックし、対応するオプションを選択します。

サージカルテンプレート

インプラント計画の作成が完了したら、院内製作用サージカルテンプレートを準備できます。

サージカルテンプレートの準備

1. **[インプラント]**ワークスペースに移動します。
2. **[計画]**ツールバーの**[サージカルテンプレート]**をクリックします。
3. サージカルテンプレートの範囲を定義し、正しいスリーブのタイプを設定して**[次へ]**をクリックします。
4. 検査ウィンドウを追加し、ラベルを追加して、エキスパート設定を行い、**[終了]**をクリックします。
5. 低解像度のサージカルテンプレートが青色でシーンに追加されます。

サージカルテンプレートの完了

サージカルテンプレートのデザインの準備が完了したら、印刷用の高解像度サージカルテンプレートを生成します。

1. 前のウィザードを終了すると、ツールチップが表示されます。**[生成]**をクリックします。
または、**[インプラント計画]**スマートパネルで、サージカルテンプレートにカーソルを合わせ、**[テンプレートの生成]**を選択します。
2. システムがライセンスチェックを行い、テンプレートを作成できる正しいライセンスまたはインプラント拡張モジュールのサブスクリプションが存在するかどうかを確認します。
3. 希望する設定を選び、**[次へ]**をクリックします。

4. 契約条項をよく読んでください。承諾するには、[**以上すべての内容を読み、これに同意します**] をクリックします。
5. [**生成**] をクリックします。
6. オーダーの概要が表示されます。[**オーダーする**] をクリックします。
7. サージカルテンプレートと指示書が患者記録に追加されます。

注記

DTX Studio Home では、サージカルテンプレートを [**共同編集**] アクションで SprintRay に送信できます。

8. 他のプリンタ設定でサージカルテンプレートを再計算するには、[**その他のオプション…**] をクリックして [**テンプレートの再生成**] を選択します。この再計算は無料です。

NobelGuide

インプラント計画の作成が完了したら、NobelGuide をノーベルバイオケアでの製作用に準備できます。

NobelGuide の作成

1. メニューバーで [**計画**] をクリックします。
2. [**NobelGuide**] をクリックします。
3. 必要に応じて NobelGuide 提案を調整し、[**次へ**] をクリックします。
4. NobelGuide のデザインを確認し、[**終了**] をクリックします。
5. NobelGuide がシーンとスマートパネルに表示されます。

NobelGuide のオーダー

1. 前のウィザードで [**ウィザード終了時にオーダーダイアログを表示**] が選択されていた場合は、自動的にオーダーウィザードに移動します。
あるいは、前のウィザードを終了したときに表示されるツールチップの [**オーダー**] をクリックします。
または、[**インプラント計画**] スマートパネルで NobelGuide にカーソルを合わせ、[**NobelGuide のオーダー**] をクリックします。
2. 入力されている配達先情報を選択または確認し、不足している情報を入力します。[**次へ**] をクリックします。

注記

[**製作についての特別なコメント**] に入力すると、オーダー処理に時間がかかる場合があります。

3. [**上記すべてを読み、同意します**] を選択し、利用条件すべてを確認し、承認したことを確認します。
4. オーダーの概要が表示されます。続行するには、[**オーダーする**] をクリックします。
5. NobelGuide オーダーが DTX Studio Home の患者記録の [**オーダー**] タブに追加されます。そこで [**オーダーの表示**] をクリックすると、DTX Studio Go でオーダーを追跡できます。

インプラント製品のオーダー

インプラント計画アイテムをオーダーするには、次の手順に従ってください。

1. メニューバーで[完了]をクリックします。
2. [製品のオーダー]をクリックします。製品番号がクリップボードにコピーされます。
3. [続ける]をクリックすると、ノーベルバイオケアオンラインストアに移動します。

レポート

レポートの作成

所見を含むレポート、または患者に関連する文書のテンプレートとしてのレポートを作成するには、次の手順に従ってください。

1. メニューバーで[完了]をクリックします。
2. [レポートの作成]をクリックします。
3. レポートテンプレートを選択します。
4. [含める画像]の期間を選択します。
5. [レポートのエクスポート]をクリックします。
6. 該当するレポートが編集可能な .odt 形式でエクスポートされ、デフォルトのテキストエディタ (Microsoft Office、LibreOffice、OpenOffice Writer など) で開きます。
7. 必要に応じて変更を加えます。
8. レポートを保存します。

カスタムのプラクティスロゴの追加

デフォルトでは、DTX Studio Clinic のアイコンがレポートヘッダーに追加されます。カスタムのロゴを追加するには、次の手順に従ってください。

1. [DTX Studio Home 設定]で、[全般]をクリックします。
2. [参照]をクリックします。
3. 新しいロゴを選択します。
4. [開く]をクリックします。
5. [OK]をクリックします。

DTX Studio Implant を開く

DTX Studio Clinic と DTX Studio Implant の接続

1. [DTX Studio Home **設定**] で、[DTX Studio Implant] をクリックします。
2. [**参照**] をクリックし、DTX Studio Implant のインストールフォルダに移動して、.exe ファイルを選択し、[**開く**] をクリックします。

注記

患者データを DTX Studio Implant の患者記録に手動で追加する必要がある場合、つまり患者記録がすでに DTX Studio Implant に存在している場合や、口腔内スキャンが DTX Studio Implant にエクスポートされているが 3D X 線データとアライメントされていない場合は、患者データの保存先を設定してください。

3. [**OK**] をクリックします。

DTX Studio Implant の起動

1. DTX Studio Home の患者リストで患者記録を選択します。
注記
該当する患者には少なくとも 1 つの 3D X 線データが必要です。
2. [**インプラント**]  をクリックします。
3. [**既存の患者を開く**] または [**新しい患者にエクスポート**] を選択します。
4. 3D X 線データが複数ある場合は、該当するタイルを選択します。
5. [**エクスポート**] をクリックします。
6. 正常に完了したことを示すメッセージが表示されます。[**OK**] をクリックします。
7. 患者記録が作成され、DTX Studio Implant に表示されます。

オーダーとパートナーの共同編集

手術計画、サージカルテンプレート、または補綴修復のオーダー

1. DTX Studio Home の患者リストで患者記録を選択します。
2. [**共同編集**] をクリックします。
3. [**手術計画**]、[**サージカルテンプレート**]、または [**補綴修復**] にカーソルを合わせます。
4. [**選択**] をクリックします。
5. 患者データを選択して、ラボまたは歯科医師に送信します。
6. [**続ける**] をクリックします。
7. オーダーのドラフトが DTX Studio Go に作成されます。足りないデータを追加し、オーダーを接続されたラボまたは歯科医師に送信します。

- 患者記録の [**オーダー**] タブをクリックすると、この患者のすべてのオーダーが表示されます。

注記

本取扱説明書で言及している製品のうち、国や地域によっては一部の製品が未認可、未販売、または未承諾場合があります。ご了承ください。

提携パートナーとの接続の確立

一部の他社パートナーは、DTX Studio Clinic に直接統合されたサービスを提供できます。オーダーを DTX Studio Clinic で作成し、提携パートナーのフレームワークに送信できます。

お住まいの地域でサービスプロバイダーを利用できる場合は、DTX Studio Go でパートナーアカウントを接続することから始めてください。

- DTX Studio Home の患者リストで患者記録を選択します。
- [**共同編集**] をクリックします。
- 提携パートナー名にカーソルを合わせて [**セットアップ**] を選択します。
- [**続ける**] をクリックします。
- DTX Studio Go の指示に従って接続を確立します。

提携パートナーからの直接オーダー

提携パートナーアカウントが DTX Studio Go に接続されると、提携パートナーのサービスを利用できるようになります。

- DTX Studio Home の患者リストで患者記録を選択します。
- [**共同編集**] をクリックします。
- 提携パートナー名にカーソルを合わせて [**選択**] をクリックします。
- 送信する患者データを選択します。
- [**続ける**] をクリックします。
- ファイルがアップロードされます。
- 提携パートナーの Web サイトでオーダープロセスを続行します。
- 送信が完了すると、該当するオーダーが患者記録の [**パートナーの症例**] タブに追加されます。

提携パートナーの症例の表示または新しいデータの追加

- DTX Studio Home の患者リストで患者記録を選択します。
- [**オーダー**] タブをクリックします。
 - 提携パートナーの Web サイトで症例を開くには、[**症例の表示**] をクリックしてください。
 - 症例に新しいデータを送信するには、[**新しいデータを追加**] をクリックしてください。



Nobel Biocare AB
Box 5190, 402 26
Västra Hamngatan 1,
411 17 Göteborg,
Sweden
www.nobelbiocare.com

ニュージーランドの配布元：

Nobel Biocare New Zealand Ltd
33 Spartan Road
Takanini, Auckland, 2105
New Zealand
電話：+64 0800 441 657

提供および配給：

Nobel Biocare Australia Pty Ltd
Suite 4.02, Level 4, Building A,
1 Eden park drive Macquarie Park NSW 2113
Australia
電話：+61 1800 804 597

トルコの配布元：

EOT Dental Sağlık Ürünleri ve Dış Ticaret A.Ş.
Seba Office Boulevard Ayazağa Mah.
Mimar Sinan Sk. No:21 A38
Sarıyer/İstanbul
Turkey
DEN-EOT-info@envistaco.com



CH 輸入業者 / 正規代理店：

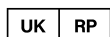
Nobel Biocare Services AG
Balz Zimmermann-Strasse 7
8302 Kloten
Switzerland

ウクライナにおける正式な代理人：

TOV Inspe
42 Brativ Mikhnovskykh Street
79018, Lviv
Ukraine



電話および FAX：+38 (032) 240 37 05 UA.TR.099
メールアドレス：info@inspe.ua



UK 責任者：

Nobel Biocare UK Ltd.
4 Longwalk Road
Stockley Park
Uxbridge UB11 1FE
United Kingdom



ifu.dtxstudio.com/symbolglossary
ifu.dtxstudio.com